

令和元年版（平成30年度）

消 防 年 報

ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
【2019年度 全国統一防火標語】



茅ヶ崎市消防本部

「茅ヶ崎市核兵器廃絶平和都市宣言」

茅ヶ崎市は1962年12月19日世界人類共通の願いである真の恒久平和を希求し、その実現に努めるため平和都市宣言を行った。

しかるに地球上では今なお核兵器の増強はとどまることなく、全人類の生存に深刻な脅威をあたえている。

よって、再び全市民の名において次の宣言をする。

日本国憲法に基づき国是である非核三原則を遵守する国とともに、地球上のすべての自然を破壊し、全人類を滅亡させるにたるあらゆる国の核兵器の使用を全面禁止する。国際世論を喚起するため、茅ヶ崎市はここに核兵器廃絶平和都市であることを宣言する。

1985年12月24日 茅ヶ崎市



市の木・アカシア
(昭和47年10月1日制定)



市の花・つつじ
(昭和47年10月1日制定)



市の鳥・シジュウカラ
(平成9年10月1日制定)

表紙の



は茅ヶ崎市章です。

「チガサキ」の「チ」を図案化した円形は、市の融和と団結をあらわし、翼状平行線は市勢の飛躍、発展を象徴しています。

市 民 憲 章

美しい海
きれいな空気
おだやかな四季

私たちは、このめぐまれた自然に感謝しながら、未来へ力強くはばたくための愛市憲章をここにさだめます。

1. 美しい自然は、私たちみんなの誇りです。
 1. 私たちは、元気で仲良く、きょうも働きます。
 1. 私たちは、きまりを守り、安全で住みよいまちづくりにはげみます。
 1. 私たちは、文化の花咲く、明るい平和なまちをきづきます。
 1. 老いも若きも手を取りあって、輝かしい明日へむかって前進しましょう。
- (昭和42年10月1日制定)



大岡越前祭

(令和元年5月18日、19日)

目 次

目で見る消防統計	6
消防のあゆみ	7
歴代消防長	1 5
消防の機構	1 7
市の概要	1 8
消防分布図	1 9
総 務	
消防費	
歳出予算	2 2
市歳出予算との比較	2 2
市歳出決算との比較	2 2
人口との比較(予算)	2 2
消防力の現有	
消防職員の定員・実員	2 3
消防職員の割合	2 3
署所	2 3
消防車両(常備)	2 3
消防職員	
階級別年齢別消防職員構成表	2 4
階級別勤続年数別消防職員構成表	2 5
消防職員年度別公務災害発生状況	2 5
研修等派遣状況	2 6
消防庁舎概要	2 7
消防職員の年度別条例定数及び実員	2 9
予 防	
立入検査実施状況	3 2
中高層・地階建築物用途別(棟)	3 3
防火管理者選任状況	3 4
届出状況(指令情報課)	3 4
届出状況	3 5
訓練	3 5
一般建築物確認申請月別	3 6
特殊建築物確認申請月別	3 6
特殊建築物確認申請用途別	3 7
危険物施設	
倍数別危険物施設数(完成検査済施設)	3 8
類別危険物施設数(完成検査済施設)	3 8
危険物申請手数料収入状況	3 9
平成30年度防火ポスター・作文コンクール	4 0

警 防

開発事業

開発行為の指導目的	4 6
-----------	-----

水 利

消防水利設置数（公設・私設）	4 7
公設消火栓現有数	4 8
公設防火水槽現有数	4 8
車両配置別内訳	4 9
車両別内訳（常備）	4 9
主な消防用資機材一覧	5 0

通信・気象

通 信	5 4
1 1 9 番通報受付記録	5 5
自然災害状況	5 6
気象警報・注意報発表件数	5 7

防災対策

広域避難場所・避難所位置図

避難所	6 0
災害用耐震性プール・飲料水兼用貯水槽	6 1
防災備蓄倉庫設置状況	6 1
防災備蓄倉庫備蓄状況	6 1
防災行政用無線屋外拡声子局設置場所	6 2

研修・訓練

訓練種別	6 3
地震対策用街頭消火器設置状況	6 3

自主防災組織

各地区内自主防災組織	6 4
------------	-----

消防団

消防団のあゆみ	6 8
歴代消防団長	7 2
消防団員叙位・叙勲者	7 2
消防団の概要	
団員数とポンプ・車両数	7 3
車両別内訳（非常備）	7 4
分団器具置場所在	7 5
災害出動	7 6
勤続年数	7 6
報酬額	7 7
費用弁償額	7 7
研修・訓練	7 7
退団者	7 7

年齢	7 8
職業	7 8
団の定数・実員	7 9
防災資機材	8 0
火災統計	
用語の意義	8 4
火災件数	8 5
火災損害額	8 6
出火原因別件数	8 7
死傷者数	8 7
管区別火災発生状況	8 8
火災件数月別内訳	8 9
初期消火器具使用状況	8 9
火災統計概要（最近 1 0 年間）	9 0
救急救助統計	
救急活動	9 4
用語の意義	9 4
過去 5 年間の救急出動状況	9 4
過去 5 年間の年齢別搬送人員状況	9 5
事故種別・傷病程度別搬送人員	9 5
事故種別・発生場所別搬送人員	9 5
月別出動状況	9 6
曜日別救急出動件数	9 6
救急隊員の行った応急処置件数	9 6
市内・市外病（医）院搬送人員	9 6
事故種別不搬送理由	9 7
救急支援出動状況	9 7
救助出動状況	9 7
救命講習会実施状況	9 8
平成 3 0 年度救命講習会開催状況	9 8
A E D（自動体外式除細動器）設置状況	9 8
A E D設置施設一覧	9 9
茅ヶ崎市応急手当普及協会	1 0 0

目で見える消防統計



平成31年度

予算（消防）	
24億 3,831万 7,000円	
市民一人あたり	
10,010円	

平成31年4月1日

	消防本部	消防署	出張所
施設	1本部	1署	5出張所

平成31年4月1日

	職員	うち女性職員
職員	255人	9人
市民 955人 に1人		
	団員	うち女性団員
団員	405人	18人
市民 601人 に1人		

平成31年4月1日

	消火栓	防火水槽
公設水利	2,336基	230基

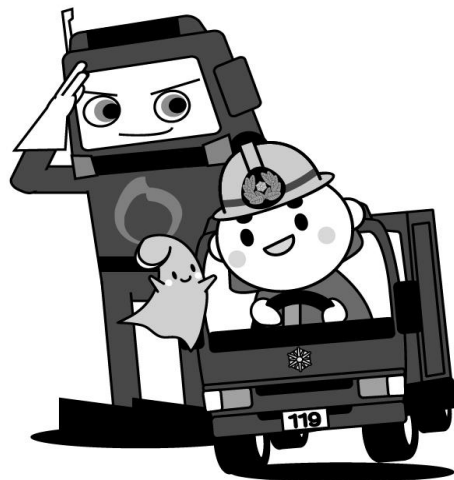


車 両

平成31年4月1日

ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車	救急車
8台	2台	2台	1台	7台
指揮車	特災車	その他緊急自動車		
1台	1台	7台		

*非常用車両は含んでおりません。



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ119号

平成30年中

火災件数			救急件数			救助件数		
41件			11,233件			21件		
8.9日 に1件			1日に約 31件			17.4日 に1件		
第1位	放火（疑い含む）	6件	第1位	急病	7,746件	第1位	建物	6件
第2位	こんろ	5件	第2位	一般負傷	1,712件	第2位	交通事故	5件
第3位	たばこ	2件	第3位	交通事故	808件	第2位	水難	5件

平成31年4月1日

	防火対象物	危険物施設
予防	5,452棟（むね）	221施設

平成31年4月1日現在

	防災訓練	のべ参加人員	街頭消火器	自主防災組織
防災	196回	16,600人	2,617本	137組織

消防のあゆみ

- S 2 2. 1 0. 1 単独で市制を施行（人口43,315人、戸数9,055戸）
- 2 3. 2. 2 4 自治体消防発足の準備態勢に入る。県下各消防署から消防官7人が配属、消防車（日産26馬力昭和16年式）を県から移管
3. 7 自治体消防として発足（消防組織法の公布施行により警察機構から分離、茅ヶ崎市消防本部並びに消防署を設置する。）
3. 7 小川 信治 初代消防長に就任
3. 1 0 仮消防庁舎を旧市役所一隅に設置し、警備に入る。（職員10人採用計17人）
- 1 1. 2 8 消防庁舎を旧茅ヶ崎警察庁舎（茅ヶ崎3,217番地）に移転
- 2 4. 5. 3 消防車（フォードオート三輪24馬力昭和6年式）を配置
- 2 6. 1. 1 2課制 庶務課（庶務・経理・教養・機関・消防団係）、予防課（建築・予防係）
2. 1 2 消防車（日産26馬力昭和25年式）を配置
- 1 0. 救急業務を暫定的に開始－救急車（オート号25馬力昭和14年式）を配置
- 2 7. 1. 1 2課制 庶務課（庶務・経理・教養・機関係）、消防課（消防・建築・予防係）
- － ー 小型動力ポンプ1台を配置し、消防車に親子ポンプとして積載
- 2 8. － ー 緊急自動車（シボレー85馬力昭和27年式）を配置
- 2 9. 6. ー 消防車（日産ジープ95馬力）を配置
- 1 2. 1 8 南湖出張所を開設
- 3 0. 4. 5 小出村の市編入により3分団（堤、行谷・下寺尾、芹沢）加入し、32分団 定数・実員 839人
- 3 1. 9. 1 9 茅ヶ崎市石油防火協会の発足
- 3 2. 1. 1 2係制 庶務係（庶務・経理・教養・整備）、消防係（消防・建築・予防）
- 3 3. 1 1. 1 水槽付消防車（いすゞ130馬力）を配置
- 3 4. 9. 2 5 大津 武男 消防長事務取扱に就任
- 1 2. 2 8 堀越 誠 2代消防長に就任（助役を兼ねる）
- 3 5. － ー 緊急自動車（シボレー85馬力昭和28年式）を配置
- 1 2. 2 6 消防専用短波無線基地局を開局
- 3 6. 4. 2 8 消防車（いすゞ5,700cc）を配置（日本損害保険協会から寄贈）
5. 2 8 大津 武男 消防長職務代理に就任
- 3 7. 6. 2 0 救急業務を正式に開始 救急車（トヨタ1,900cc）を配置
- 3 8. 1. 1 3係制 庶務係（庶務・経理・整備）、警防係（消防・予防第1・第2）、消防団係
7. 1 8 寒川町の救急業務を昭和47年3月31日（42年12月1日から）は夜間のみ）まで代行する。

- 1 2. 2 7 消防車（日産F R 4, 0 0 0 c c）を配置
- 4 0. 4. 1 2 課制 庶務課（庶務係・管理係）、警防課（消防係・予防係）
- 1 0. 2 8 消防車（日産4, 0 0 0 c c）を配置
- 1 1. 1 消防専用短波無線を超短波無線に切り換える。
- 1 2. 2 4 小和田出張所を開設
- 4 1. 1 1. 1 朝倉 房治 3代消防長に就任
- 1 1. 2 1 水槽付消防車（いすゞ5, 6 5 4 c c、水2 t、薬剤0. 2 t）を配置
- 1 1. 2 8 救急車（トヨタ4, 0 0 0 c c）を配置
- 4 2. 1 0. 1 6 救助隊発足（隊長以下1 1 人）
- 1 0. 1 6 大津 武男 消防長職務代理に就任
- 4 3. 1 1. 1 1 大津 武男 4代消防長に就任
- 1 1. 1 3 消防庁舎を矢畑（1, 2 8 0 番地の3）に移転
- 1 2. 2 0 消防車（日産F R 4, 0 0 0 c c）を配置
- 4 4. 6. 1 0 鈴木 芳雄 署長に就任 ※署長の専任制始まる。
- 9. 1 指令車（日産1, 6 0 0 c c）を配置
- 1 1. 1 0 救急車（トヨタ4, 0 0 0 c c）を配置
- 4 5. 1 1. 9 水槽付消防車（いすゞ5, 6 5 4 c c、水1. 6 t）を配置（日本損害保険協会から寄贈）
- 4 6. 3. 3 1 救助工作車（日産2, 0 0 0 c c）を配置
- 1 2. 2 4 消防車（日産F H 6 0、4, 0 0 0 c c）を配置
- 4 7. 9. 2 0 救急車（トヨタ2, 0 0 0 c c）を配置
- 4 8. 5. 1 斎藤 清二 5代消防長に就任
- 4 9. 2. 2 6 消防車（いすゞS B R 3 2 0、5, 0 0 0 c c）を配置
- 5. 1 係制を担当制とし、予防課（指導・保安・査察担当）を新設
庶務課（庶務・管理・消防団担当）、警防課（警備・整備担当）
- 1 1. 1 小林 吉男 署長に就任
- 1 1. 6 救急車（トヨタR H 1 8 V 2、2, 0 0 0 c c）を配置
- 1 2. 4 はしご車（2 4 m日野K B 3 2 2、9, 8 3 0 c c）を配置
- 5 0. 7. 3 連絡車（三菱ギャラン・バン1, 6 0 0 c c）を配置
- 1 1. 5 消防車（日産F H 6 0、4, 0 0 0 c c）を配置
- 5 1. 2. 3 消防救急一斉指令装置を設置
- 2. 2 6 広報車（日産ブルーバード1, 6 0 0 c c）を配置（茅ヶ崎市石油防火協会から寄贈）
- 1 0. 2 関野恒吉 署長に就任
- 1 0. 2 予防課の担当を改める。（査察第1・第2・第3・予防担当）
- 5 2. 2. 8 南湖出張所を改築
- 2. 2 6 救急車（日産H-G K P E 2, 0 0 0 c c）を配置（グリーンライオンズクラブから寄贈）
- 5. 1 0 署査察車（スズキ軽ジープ3 6 0 c c）を配置（角田九十郎氏から寄贈）

- 6. 1 望楼勤務（定時）の廃止
- 12. 2 指令車（トヨタコロナバン1, 600cc）を配置
- 53. 1. 12 消防車（日産FH60、4, 000cc）を配置
 - 2. 18 救助工作車（日野KL521、6, 210cc）を配置
 - 4. 12 茅ヶ崎市危険物安全協会発会式（茅ヶ崎市石油防火協会を改組）
 - 7. 24 総合自動気象観測装置・震度計を設置
 - 12. 13 水槽付消防車（いすゞSCR320、1.5t・5, 780cc）を配置
- 54. 3. 27 救急車（トヨタHRH42VB2, 000cc）を配置
 - 7. 1 小林 吉男 署長に就任
 - 7. 1 担当制を係制にし、予防課に地震対策係、庶務課に企画係を新設
庶務課（庶務・企画係）、予防課（予防・危険物・地震対策係）、
警防課（警防、整備係）
 - 8. 7 地震対策強化地域に指定される。（大規模地震対策特別措置法の
施行による）
 - 10. 21 茅ヶ崎古式消防保存会の発足
 - 11. 29 救急専用無線基地局を開局
- 55. 2. 8 救急車（トヨタJRH45VB、2, 000cc）を配置
 - 2. 14 消防車（いすゞTLD44、2, 770cc）を配置
 - 2. 18 防災連絡車（スバルサンバー軽四）を配置
 - 2. 25 照明電源車（いすゞ）を配置
 - 4. 1 救急隊1隊を増隊し本署2隊出動とする。
 - 7. 17 4課制 防災課（計画・指導係）を新設 庶務・予防・警防課
 - 9. 26 化学車（いすゞ、水1t）を配置（日本損害保険協会から寄贈）
 - 12. 5 ミニ消防車（スバル540cc）を配置
 - 12. 11 防災広報車（日産）を配置（グリーンライオンズクラブから寄
贈）
- 56. 1. 7 茅ヶ崎古式消防保存会に「まとい」を寄贈
 - 3. 1 消防本部庁舎兼防災備蓄倉庫を建設 署・仮眠室等の増改築
 - 4. 1 関野 恒吉 署長に就任
 - 5. 1 警備第一課・二課制、指導課（管理・指導係）の新設 副署長制
及び甲・乙部制の廃止
 - 5. 1 第3小隊（遊動隊として）を発足
 - 9. 24 軽可搬消防ポンプを堤婦人防火クラブに配置（県消防協会から
寄贈）
 - 12. 10 消防車（いすゞKLTD46、3, 260cc）を配置
- 57. 2. 1 緊急情報現示装置を設置
 - 3. 30 防災行政用無線（遠隔制御器）を設置 子局35箇所 4月30
日使用開始
 - 4. 1 避難地案内版10箇所設置
 - 10. 1 第3小隊増隊

	1 1.	1	小林 吉男 署長に就任
5 8.	2.	1 0	救急車（日産キャラバン）を配置（日本損害保険協会から寄贈）
	2.	2 5	はしご車（3 5 m三菱）を配置
	4.	1	救急医療情報装置を設置
	年 度 内		防災行政用無線子局 6 5 箇所設置、計 1 0 0 箇所
	年 度 内		防災用備蓄コンテナを設置開始、2 箇所
	年 度 内		幼年消防団を発足、2 4 団体
5 9.	4.	1	茅ヶ崎市少年婦人防火委員会を発足
	4.	2	斎藤 清二 消防長 署長を兼務
	8.	7	消防指令広報車（日産ブルーバード 1, 5 9 0 c c）を配置（日本消防協会から寄贈）
	1 1.	1	小林 吉男 6 代消防長に就任
	1 1.	1	佐藤 好男 署長に就任
	1 1.	1 3	防災パトロール車（日産トラック 2, 2 8 0 c c）を配置
	年 度 内		防災行政用無線子局を海岸線に 4 箇所設置、計 1 0 4 箇所
	年 度 内		防災用備蓄コンテナを 1 2 箇所設置、計 1 4 箇所
6 0.	4.	1	森林法の改正により市内の一部を森林地区に指定する。（林野火災の取扱い変更）
	9.	1 8	軽可搬消防ポンプを平和町婦人消防隊に配置（日本消防協会から寄贈）
6 1.	2.	1 0	救急車 1 台を更新し、配置
	年 度 内		防災行政用無線子局を海岸線に 2 箇所設置、計 1 0 6 箇所
	年 度 内		防災用備蓄コンテナを 1 2 箇所に設置、計 2 6 箇所
	4.	1	消防署小出出張所を開設（消防ポンプ自動車 1 台、人員 1 4 人配置）
	6.	1 8	軽可搬消防ポンプを下赤羽根婦人消防隊に配置
	9.	1	県防災行政用無線高速ファックス設置
	1 0.	1	小和田出張所救急隊運用開始（増隊）
	1 1.	1 2	視聴覚障害者災害通報用ファックス運用開始
6 2.	3.	1 2	消防通信指令庁舎完成
	年 度 内		防災用備蓄コンテナを 2 箇所設置、計 2 8 箇所
	8.	1 7	軽可搬消防ポンプを堤婦人消防隊に配置（日本消防協会から寄贈）
	年 度 内		消防用備蓄コンテナを 1 箇所設置、計 2 9 箇所
6 3.	4.	1	消防緊急情報システム運用開始 室長制を導入する。
	4.	1	清水 弘和 7 代消防長に就任
	4.	1	岡崎 武 署長に就任
	6.	3	防火広報車を消防本部に配置（日本防火協会から寄贈）
1 0.	1		自治会に戸別受信機を設置する。
H 元.	1.	1	消防署組織等規程の改正により中隊制を導入する。
	1.	1	新給料制の導入に伴い、現 6 等級制を 8 級制に改める。

- 3. 6 昭和63年度消防庁長官定例表彰竿頭授与
- 年 度 内 防災用備蓄コンテナを1箇所設置、計30箇所
- 6. 4 第2、第4土曜日閉庁の施行
- 9. 1 県・市合同総合防災訓練（浜須賀中学校）
- 2. 2. 3 1 飲料水兼用貯水槽を中央公園に設置する。市総合体育館内防災倉庫整備
- 3. — 小和田出張所の増築及び本署防水塗装工事
- 4. 1 消防長の階級を消防正監に、次長、署長を消防監に改める。城田満也 署長に就任
- 5. 2 5 水槽付消防ポンプ自動車を本署に配置（日本損害保険協会から寄贈）
- 9. 1 4 救急自動車を本署に配置（日本自動車工業会から寄贈）
- 10. 4 防災防火広報車を消防本部に配置（茅ヶ崎ロータリークラブから寄贈）
- 12. 2 8 連絡車を消防本部に配置
- 3. 1. 3 1 飲料水兼用貯水槽を浜須賀中学校に設置する。
- 3. 4 救助工作車を本署に配置
- 4. 1 消防署鶴嶺出張所を開設（消防車1台 救急車1台 人員20人配置）
- 4. 1 水難救助活動運用開始
- 4. 1 救急自動車に自動車電話を積載する。
- 7. 2 5 救急自動車を小和田出張所に配置（日本消防協会から寄贈）
- 8. 1 防災行政無線（子局）の難聴地区の調査を実施する。
- 4. 3. 1 0 2.5m級屈折はしご車を本署に配置
- 3. 1 2 飲料水兼用貯水槽を萩園中学校に設置
- 年 度 内 防災行政用無線子局を1箇所撤去、4箇所設置、計109箇所
- 7. 1 半谷 隆明 署長に就任
- 11. 1 救急業務拡大9項目応急処置の実施
- 5. 1. 1 完全週休二日制の施行
- 3. 3 0 飲料水兼用貯水槽を東小和田公園に設置
- 年 度 内 本署・各出張所にファクスを設置
- 4. 1 消防本部消防署組織等規程の改正
- 消防署松林出張所を開設
- 鶴嶺小隊水難隊を兼ねる。
- 4. 1 本署配置の消防隊1隊、救急隊1隊、松林出張所に配置替（消防車1台 救急車1台 人員22人配置）
- 4. 1 太田 貢 8代消防長に就任
- 4. 1 職・階級制度の改正に伴い、課長補佐職及び主査司令補の導入
- 6. 3. 2 9 飲料水兼用貯水槽を茅ヶ崎市営球場に設置
- 4. 2 7 救急救命士誕生
- 12. 2 7 高規格救急自動車を本署に配置

	年 度 内	兵庫県南部地震に伴う被災地へ救助隊を派遣
7.	2. 1 0	水難救助工作車を鶴嶺出張所に配置
	3. 2 4	飲料水兼用貯水槽を浜之郷公園に設置
	4. 1	吉川 良雄 9代消防長に就任 飯島 隆 署長に就任 消防本部組織等規則改正を行う。消防本部、庶務課、予防課、警防課に改める。
	7. 1	機構改革により防災課が市長部局へ移り防災対策課となる。
	9. 1 1	消防本部・消防署・小和田及び南湖出張所の耐震診断調査を実施
1 0.	1	消防用超短波無線に全国波を導入
8.	4. 1	半谷 隆明 1 0代消防長に就任
9.	3. 1 8	飲料水兼用貯水槽を西浜中学校に設置
	3. ー	消防本部、5出張所及び茅ヶ崎公園に災害対策用資機材を配備
	4. 1	佐藤 武雄 1 1代消防長に就任 浅岡 幸信 署長に就任
1 0.	2. 2 7	高規格救急自動車を小和田出張所に配置
	3. 7	平成9年度消防庁長官表彰旗授与
	3. 1 1	消防署及び小和田出張所の耐震補強工事を実施
	4. 1	鈴木 達夫 署長に就任 消防本部組織等規則改正 庶務課を総務課に、係を担当に改める。
1 1.	2. 2 6	本署に監視カメラ、出張所にインターホン設置工事を実施、夜間の受付勤務を廃止する。
	3. 1 5	自動車電話等転送専用回線設置工事を実施
1 0.	4	水野 南雄 1 2代消防長に就任
1 2.	2. 1	高規格救急自動車を松林出張所に配置
	2. 1 7	本署 指揮車を配置
	4. 1	鈴木 善明 署長に就任
1 1.	1	消防署南湖出張所を廃止し、消防署海岸出張所を開設 本署配置の屈折梯子車、鶴嶺出張所配置の水難救助工作車、旧南湖出張所の消防車を海岸出張所に配置替（人員18人配置）
1 3.	2. 1	海岸出張所に高規格救急自動車を配置（人員10人配置）
	3. 1 6	飲料水兼用貯水槽を緑が浜小学校に設置
	4. 1	金子 光男 1 3代消防長に就任 古谷 一郎 署長に就任
	9. 2 6	鶴嶺出張所 高規格救急自動車を配置
	9. 2 8	海岸出張所 水上オートバイを配置
1 4.	4. 1	消防本部組織等規則改正 総務課を消防総務課に、消防署通信指令室を消防本部警防課指令担当に改める。 石黒 均 署長に就任
1 5.	4. 1	鈴木 善明 1 4代消防長に就任 消防緊急通信指令システムの更新

	9.	1 1	茅ヶ崎市消防本部のホームページを開設
1 6.	1.	1 3	本署 3 5 mはしご付消防自動車を更新
	4.	1	今井 信直 署長に就任
	7.	1	小出暫定広場に消防操法訓練場を併設
	年 度 内		新潟県中越地震に伴う被災地へ緊急消防援助隊を派遣
	1 1.	3	小出出張所 高規格救急自動車を配置（人員 1 0 人配置）
	1 1.	1 9	第 7 回全国消防広報コンクールホームページ部門優秀賞（消防庁長官）
1 7.	4.	1	竹森 浩 1 5 代消防長に就任
			小澤 賢三 署長に就任
			消防本部に救命課を新設
	8.	1	消防車両及び公共機関へ A E D（自動体外式除細動器）の設置開始
	1 2.	1 4	チタン製三連はしごの寄贈（トーホーテック(株)）
1 8.	1.	1 9	茅ヶ崎市応急手当普及協会発足
	4.	1	今井 信直 1 6 代消防長に就任
			消防本部組織等規則及び消防署組織等の一部改正 予防業務に関する窓口の一元化(消防同意事務等)
	6.	1	住宅に住宅用火災警報器の設置義務付け
	1 2.	2 2	市役所ロビーにて「茅ヶ崎消防あゆみ展」を開催
	1 2.	1	茅ヶ崎市災害時協力事業所登録制度の運用開始
1 9.	2.	2 0	本署 救助工作車を更新
	9.	1	出張所に不在時対応電話を設置
2 0.	4.	1	熊澤 利房 署長に就任
	1 1.	9	第 1 回消防フェスティバルを開催
2 1.	4.	1	太田 登 署長に就任
			茅ヶ崎市消防団協力事業所表示制度の運用開始
2 2.	1.	2 7	小和田出張所 消防ポンプ付救助自動車を配備
	4.	1	女性消防分団（第 2 2 分団 通称：茅ヶ崎ファイヤーレディース）発足
			消防訓練施設を茅ヶ崎三丁目 4 番 7 号（茅ヶ崎市資源物選別処理施設内）へ移設
			本署 特殊災害対応自動車を配備
2 3.	1.	1 8	海岸出張所 水難救助工作車を更新
	2.	7	鶴嶺出張所 消防ポンプ付水難救助自動車を配備
	年 度 内		東北地方太平洋沖地震に伴う被災地へ緊急消防援助隊を派遣
	4.	1	生川 幹雄 1 7 代消防長に就任
			川上 幸男 署長に就任
2 4.	2.	2 1	本署 消防ポンプ自動車（高圧噴霧消火装置付）を更新
	2.	2 9	海岸出張所 1 6 m屈折はしご付消防自動車を更新
	4.	1	太田 登 1 8 代消防長に就任
	4.	1	小型軽量ポンプを消防署所 6 か所、防災資機材格納庫 1 0 か所に配備
	1 2.	2 4	小和田出張所 高規格救急自動車を更新（とき 1 号）
2 5.	2.	2 2	財団法人日本消防協会から防災活動車の寄贈

- 3. 1 3 鶴嶺出張所 水上オートバイ、トレーラーを更新
- 4. 1 寒川町との消防指令業務共同運用に関して、「茅ヶ崎市と寒川町との消防指令業務に関する事務の委託に関する規約の協議書」に市長町長調印
- 27. 1. 1 茅ヶ崎市環境事業センター敷地内に自家用給油取扱所設置
- 1. 1 燃料補給車を本署に設置
- 2. 1 9 小出出張所 高規格救急自動車を更新（とき2号）
- 4. 1 川上 幸男 19代消防長に就任
- 4. 1 田中 潔 署長に就任
- 4. 1 消防本部組織等規則・消防署組織等規程改正を行う。警防救命課、指令情報課、消防指導課に改める。
- 12. 1 7 本署 高規格救急自動車を更新（とき3号）
- 28. 2. 1 消防本部（消防総務課、予防課、警防救命課、指令情報課）を茅ヶ崎市役所4階（茅ヶ崎一丁目1番1号）に移転
- 2. 1 5 茅ヶ崎市・寒川町消防指令センター運用開始
- 4. 1 田中 潔 20代消防長に就任
- 4. 1 小澤 幸雄 署長に就任
- 29. 2. 1 7 松林出張所 高規格救急自動車を更新（とき5号）
- 3. 2 2 海岸出張所 消防ポンプ自動車を更新
- 4. 1 小澤 幸雄 21代消防長に就任
- 4. 1 村田 敏郎 署長に就任
- 4. 2 4 消防署小和田出張所 移転
- 30. 2. 2 0 本署 化学消防ポンプ自動車を更新
- 3. 1 本署 第二救急小隊を増隊
- 本署 高規格救急自動車を更新（とき6号）
- 4. 1 新倉 直明 署長に就任
- 11. 1 7 鶴嶺出張所 高規格救急自動車を更新（とき7号）
- 31. 3. 2 7 寒川町との消防業務の事務委託に関して「茅ヶ崎市と寒川町との消防業務に関する事務の委託に関する規約の協議書」に市長町長調印
- 3. 2 7 神奈川県から茅ヶ崎市と寒川町が「消防広域化重点地域」に指定される
- 4. 1 鯨井 久生 署長に就任

歴 代 消 防 長

初代消防長	小川 信治	昭和23年 3月 7日
2代消防長	堀越 誠	昭和34年12月28日
3代消防長	朝倉 房治	昭和41年11月 1日
4代消防長	大津 武男	昭和43年11月11日
5代消防長	斎藤 清二	昭和48年 5月 1日
6代消防長	小林 吉男	昭和59年11月 1日
7代消防長	清水 弘和	昭和63年 4月 1日
8代消防長	太田 貢	平成 5年 4月 1日
9代消防長	吉川 良雄	平成 7年 4月 1日
10代消防長	半谷 隆明	平成 8年 4月 1日
11代消防長	佐藤 武雄	平成 9年 4月 1日
12代消防長	水野 南雄	平成11年10月 4日
13代消防長	金子 光男	平成13年 4月 1日
14代消防長	鈴木 善明	平成15年 4月 1日
15代消防長	竹森 浩	平成17年 4月 1日
16代消防長	今井 信直	平成18年 4月 1日
17代消防長	生川 幹雄	平成23年 4月 1日
18代消防長	太田 登	平成24年 4月 1日
19代消防長	川上 幸男	平成27年 4月 1日
20代消防長	田中 潔	平成28年 4月 1日
21代消防長	小澤 幸雄	平成29年 4月 1日（現職）

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

消防の機構

<消防本部>

平成31年4月1日現在

定数258人

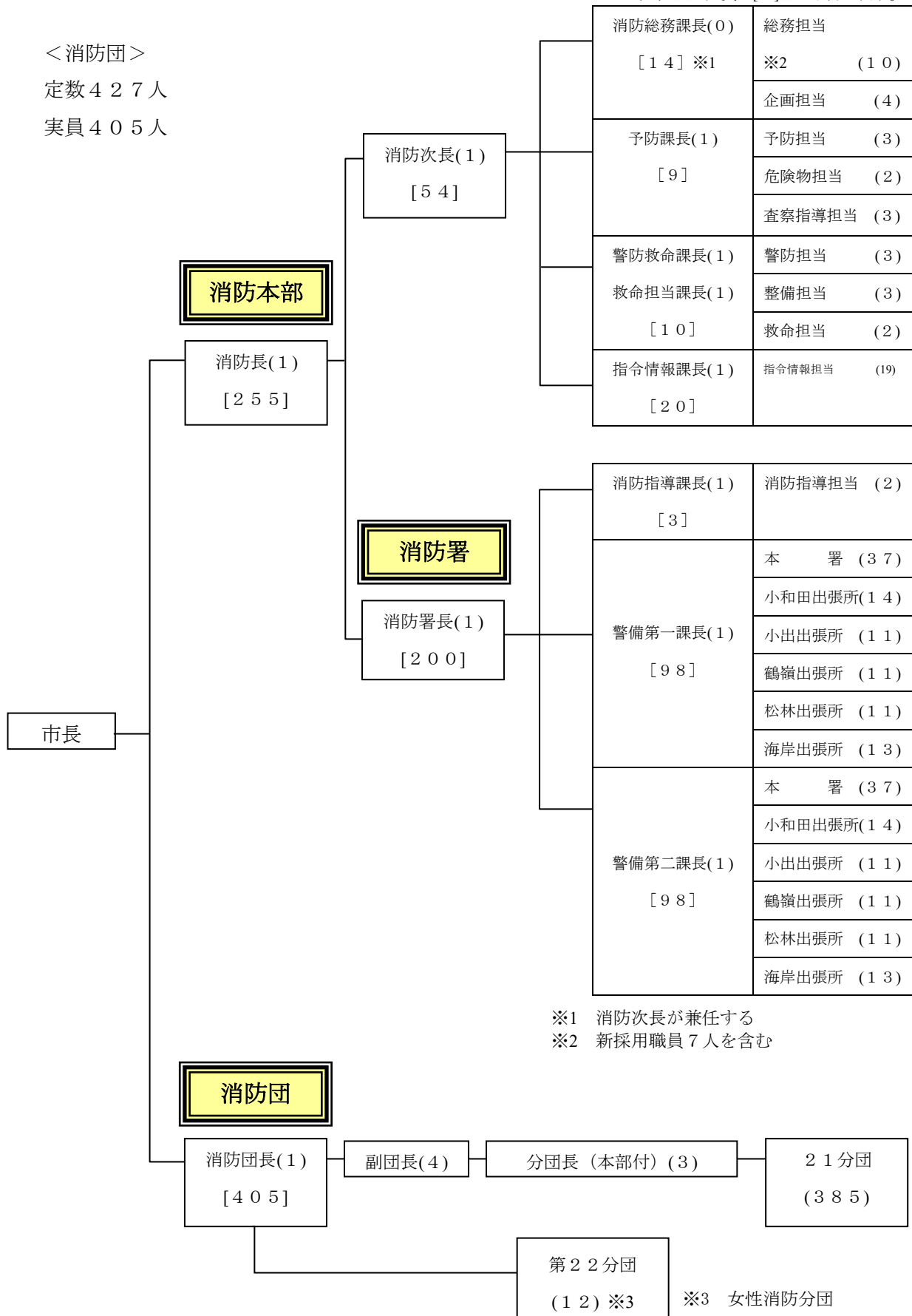
実員255人（市への派遣職員2人、寒川町への交流職員2人、再任用職員（短時間勤務）7人を除く）

（ ）内は人員 []内は小計を表す。

<消防団>

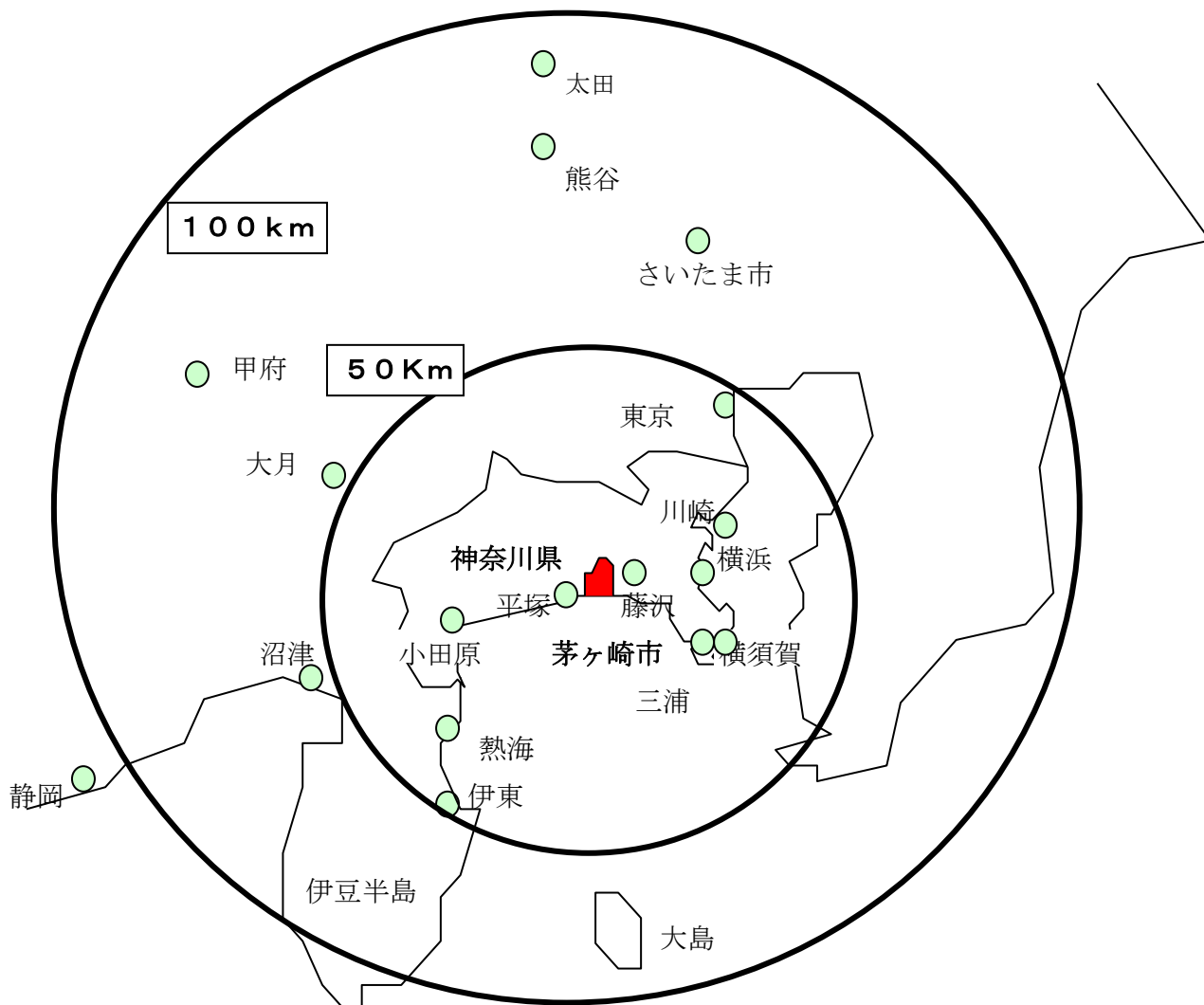
定数427人

実員405人



市の概要

本市は、神奈川県の中南部、東経139度24分、北緯35度19分に位置し、東京から西に50km あり、東は藤沢市、西は相模川をはさんで平塚市、南は海岸線約6km に及ぶ相模湾、そして北は寒川町と接しています。面積は35.76km²、東西6.94km、南北7.60km で、周囲は30.46km に及んでいます。



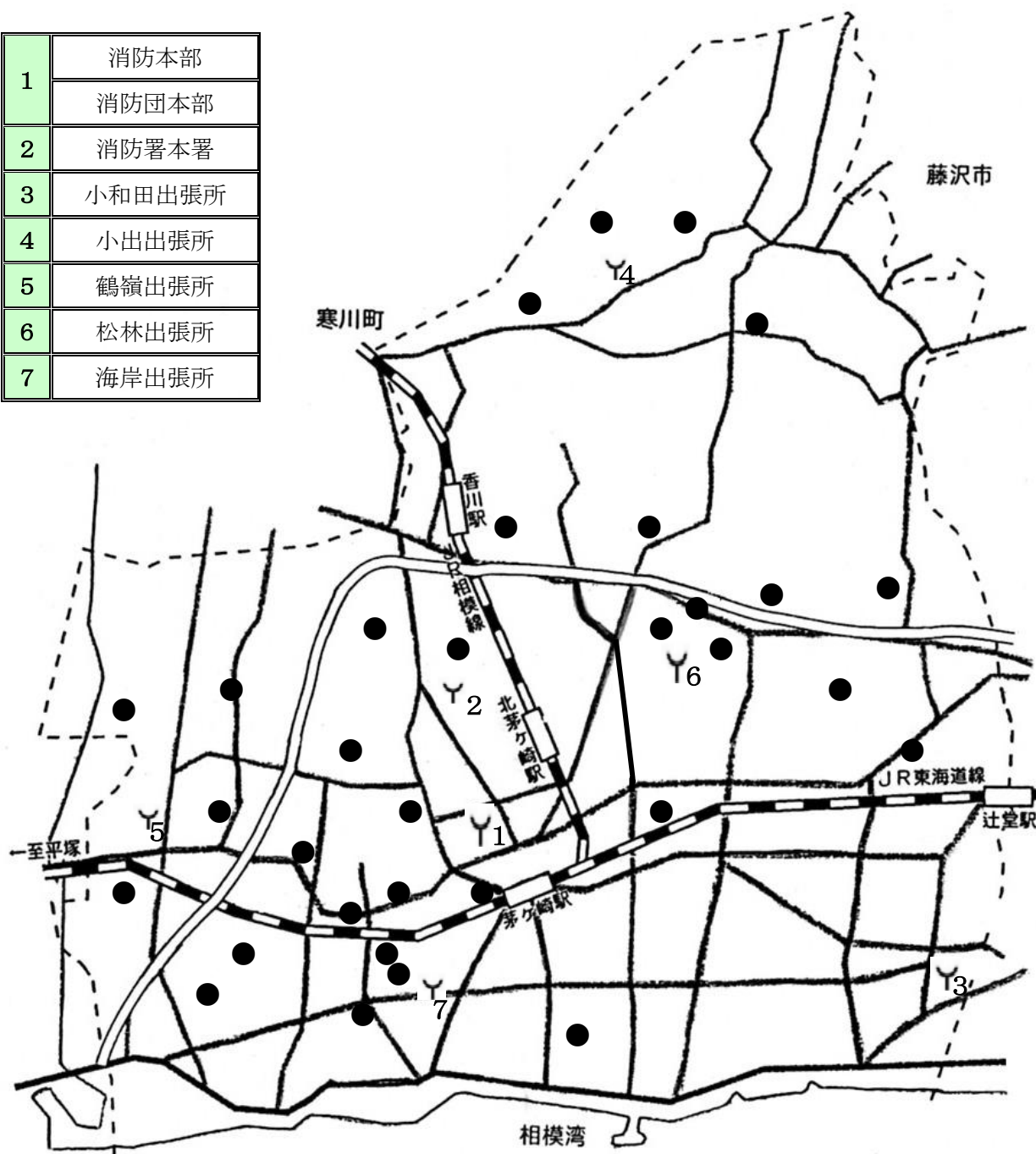
平成 31 年 4 月 1 日現在

面 積	人 口	世帯数	人口密度 (1km ² 当りの人口)	1 世帯当りの人口
35.76km ²	243,577 人	107,251 世帯	6811.4 人	2.27 人
東西 6.94km 南北 7.60km 海岸線 5.95km 周囲 30.46km	平成 30 年 4 月 1 日との比較			
	2,045 人増	6,102 世帯増	57.1 人増	0.11 人減

消防分布図



1	消防本部
	消防団本部
2	消防署本署
3	小和田出張所
4	小出出張所
5	鶴嶺出張所
6	松林出張所
7	海岸出張所

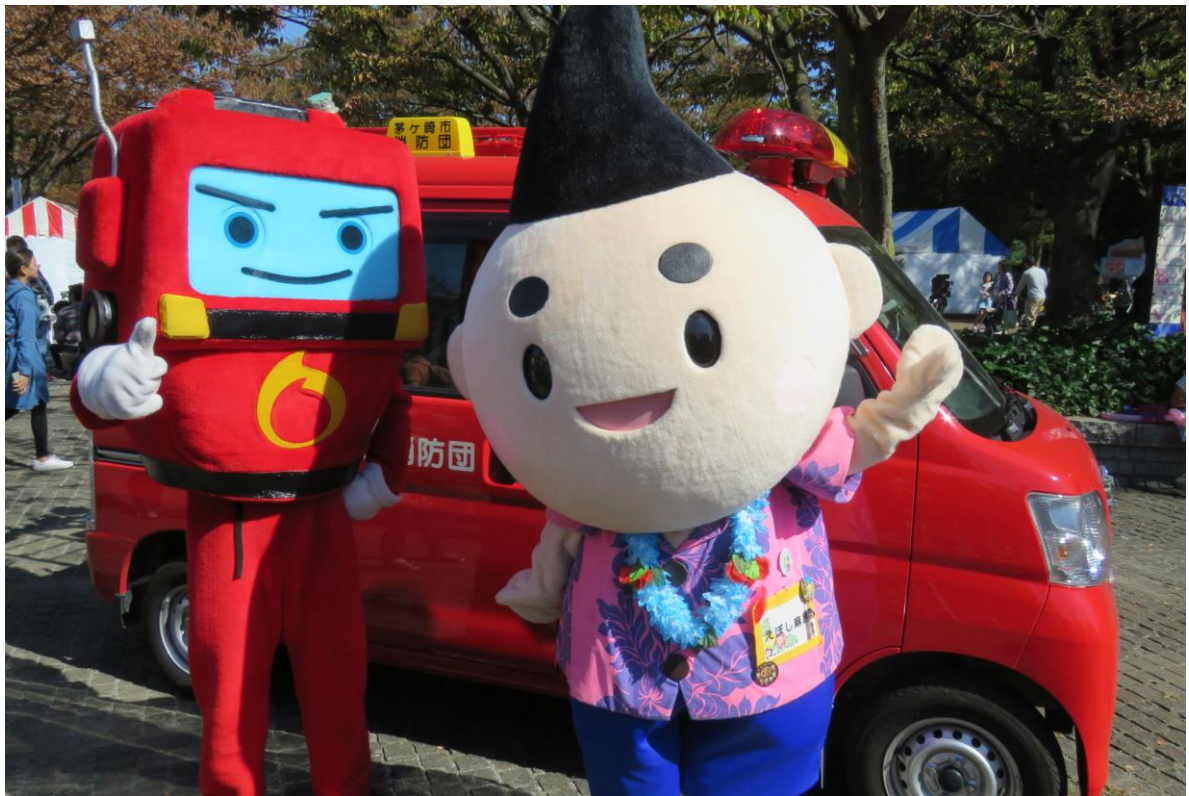


Y は消防本部・消防署各出張所を表します。

● は消防団各分団器具置場を表します。

* なお、消防本部各庁舎の名称・所在地は 27、28 ページに、各分団器具置場の名称・所在地は 75 ページに掲載してあります。

総務



ちがさき消防防災フェスティバル2018

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

消防費
歳出予算

平成31年度 単位 千円

款	項	目	金額	比率
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	2, 378, 599	97. 6%
		非常備消防費	59, 718	2. 4%
		消 防 施 設 費	0	0. 0%
予 算 総 合 計			2, 438, 317	100. 00%

市歳出予算との比較

単位 千円

区分 \ 年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	対前年度増減率
市 予 算 額 (一 般 会 計)	74,720,000	74,730,000	71,340,000	-4.54%
消 防 予 算 額	2,607,316	2,486,199	2,438,317	-1.93%
比 率	3.49%	3.33%	3.42%	

市歳出決算との比較

単位 円

区分 \ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
市 歳 出 決 算 額 (一 般 会 計)	70,685,242,880	72,240,559,288	74,990,367,856
消 防 歳 出 決 算 額	2,912,047,566	2,534,669,277	2,436,007,872
比 率	4.12%	3.51%	3.25%

人口との比較(予算)

平成31年4月1日現在

区分 \ 項目	予算額(千円)	1世帯当たり(円)	市民1人当たり(円)
消 防 予 算 額	2,438,317	22,735	10,010
		世帯数 107,251世帯	人口 243,577 人

消防力の現有
消防職員の定員・実員

平成31年4月1日現在

定数	実員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
258	255	1	4	7	49	79	34	22	59
比 率 (%)		0.4%	1.6%	2.7%	19.2%	31.0%	13.3%	8.6%	23.1%

消防職員の割合

平成31年4月1日現在

区分	人口に対して	世帯に対して	面積に対して
消防職員の割合	955人/1人	421世帯/1人	0.14km ² /1人

署所

平成31年4月1日現在

区 分	消防本部	消 防 署	出 張 所
現 有 数	1	1	5

消防車両（常備）

平成31年4月1日現在

区 分	消防ポンプ自動車	梯子消防自動車	救助工作車	化学消防自動車	水槽付消防ポンプ自動車	高規格救急自動車	指揮車	特殊災害対応自動車	その他緊急車両	非常用自動車		その他車両
										消防ポンプ自動車	高規格救急自動車	
現有数	6	2	2	1	2	7	1	1	7	2	2	5

消防職員

階級別年齢別消防職員構成表

平成31年4月1日現在

年齢	総数	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	消防正監
総数	255	59	22	34	79	49	7	4	1
18歳	1	1							
19歳	4	4							
20歳	3	3							
21歳	6	6							
22歳	3	3							
23歳	10	10							
24歳	11	11							
25歳	8	8							
26歳	6	6							
27歳	6	5	1						
28歳	8	1	7						
29歳	7	1	6						
30歳	2		2						
31歳	10		4	6					
32歳	3		2	1					
33歳	2			2					
34歳	5			5					
35歳	7			7					
36歳	6			3	3				
37歳	10			5	5				
38歳	11			4	7				
39歳	3				3				
40歳	2				2				
41歳	6				6				
42歳	7				7				
43歳	12				12				
44歳	7				7				
45歳	10				9	1			
46歳	9				6	3			
47歳	10				5	5			
48歳	3				1	2			
49歳	6				2	4			
50歳	6				1	5			
51歳	4					4			
52歳	5					5			
53歳	3					3			
54歳	3				1	1	1		
55歳	6				1	5			
56歳	5					4		1	
57歳	7					2	2	2	1
58歳	6				1	3	2		
59歳	5					2	2	1	
60歳	1			1					
平均年齢	38.7	23.5	29.3	35.4	43.0	51.9	57.4	57.3	57.0

小数点第二位以下四捨五入

階級別勤続年数別消防職員構成表

平成31年4月1日現在

	総数	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	消防正監
総数	255	59	22	34	79	49	7	4	1
1 年未満	7	7							
1 年以上	10	10							
2 年以上	17	17							
3 年以上	9	9							
4 年以上	6	6							
5 年以上	9	5	4						
6 年以上	7	2	5						
7 年以上	4	2	2						
8 年以上	5	1	3	1					
9 年以上	9		3	6					
1 0 年以上	4		1	3					
1 1 年以上	9		4	5					
1 2 年以上	9			9					
1 3 年以上	7			7					
1 4 年以上	4			1	3				
1 5 年以上	11			1	10				
1 6 年以上	2				2				
1 7 年以上	4				4				
1 8 年以上	6				6				
1 9 年以上	6				6				
2 0 年以上	2				2				
2 1 年以上	2				1	1			
2 2 年以上	2				2				
2 3 年以上	0								
2 4 年以上	6				4	2			
2 5 年以上	10				10				
2 6 年以上	8				7	1			
2 7 年以上	8				7	1			
2 8 年以上	10				7	3			
2 9 年以上	10				4	6			
3 0 年以上	5				1	4			
3 1 年以上	3					3			
3 2 年以上	2				1	1			
3 3 年以上	13					13			
3 4 年以上	0								
3 5 年以上	2					1	1		
3 6 年以上	4					2	1	1	
3 7 年以上	6				1	4	1		
3 8 年以上	5			1		2		2	
3 9 年以上	7					2	3	1	1
4 0 年以上	5				1	3	1		
平均勤続年数	17.9	2.7	7.7	12.1	22.6	32.3	37.9	37.8	39.0

小数点第二位以下四捨五入

消防職員年度別公務災害発生状況

年度	区分	件数等	負傷時の状況							治療期間		
			火災	風水害等の災害	救急業務	演習・訓練等	特別警戒	捜索	その他	1週間未満	1か月未満	1か月以上
30年度	件 数	0										
	死 者	0										
	負傷者	0										
29年度	件 数	4				4					4	
	死 者	0										
	負傷者	4				4					4	

研修等派遣状況

平成30年度中

派遣先	研修等種別		人員	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防大学 消防研修	救 急 科 （ 第 8 0 期 ）		1	1				
	高度救助・特別高度救助コース（第8回）		1		1			
	N B C コー ス （ 第 8 回 ）		1		1			
消防学校 消防研修	初任	第 214 期	10					10
	専科	救 急 科 （ 第 1 回 ）	2		2			
		救 急 科 （ 第 2 回 ）	7					7
		警 防 科	1		1			
		予 防 査 察 科	1		1			
		救 助 科	2				1	1
		特 殊 災 害 科	1		1			
		火 災 調 査 科	2		2			
	特別	水 難 救 助 課 程	4		1			3
		幹 部 特 別 教 育 （ 研 修 教 官 ）	1			1		
		は し ご 車 操 作 員 課 程	1					1
		特 別 救 助 隊 員 研 修	1			1		
		救 急 救 命 士 研 修	2		2			
		女 性 活 躍 推 進 研 修	1		1			
救 急 救 命 東 京 研 修 所			2				2	
救 急 救 命 士 就 業 前 病 院 実 習			7			2		5
救 急 救 命 士 再 教 育 病 院 実 習			15	1	8	4	1	1
救 急 救 命 士 気 管 挿 管 病 院 実 習			2		2			
安 全 運 転 指 導 者 研 修			2		1	1		
特 殊 小 型 船 舶 講 習			2		1			1
玉 掛 け 講 習			2					2
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 講 習			2					2

※上記研修は主な研修のみを掲載しております。

階級は、研修受講時点のものです。

消防庁舎概要

部所別	消防本部(本庁舎4F)	消防署 本署	消防署 北棟	消防署 東棟
	TEL82-1111 (※裏表紙参照)	TEL85-4593		
所在地	茅ヶ崎一丁目1番1号	矢畑 1280 番地3	矢畑 1280 番地3	矢畑 1280 番地3
建築年月日	平成 28 年 1 月 1 日	昭和 43 年 11 月 13 日	昭和 56 年 3 月 9 日	昭和 62 年 3 月 5 日
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造7階建 地下1階 柱頭免震構造	鉄筋コンクリート造 3階建(塔屋付)	鉄筋コンクリート造 2階建(塔屋付)	鉄筋コンクリート造 3階建
敷地面積	23, 238. 06㎡	2,671. 08㎡		
建築面積	3, 505. 02㎡	739. 97㎡	348. 34㎡	265. 81㎡
建築延面積	20, 180. 20㎡ (757. 51㎡占有面積)	1,199. 21㎡	699. 11㎡	503. 61㎡

※面積には、付属建物を含む。



消防署



消防本部 (茅ヶ崎市役所 4 階)



小和田出張所

小和田出張所	小出出張所	鶴嶺出張所	松林出張所	海岸出張所
TEL82-8300	TEL53-3004	TEL85-8811	TEL52-1230	TEL83-3311
常盤町1番7号	行谷 1090 番地 8	今宿 911 番地 6	赤羽根 338 番地 1	中海岸四丁目 2 番 41 号
平成 29 年 3 月 29 日	昭和 61 年 3 月 25 日	平成 3 年 3 月 27 日	平成 5 年 3 月 22 日	平成 12 年 10 月 23 日
鉄筋コンクリート造 2階建	鉄骨造 2階建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄筋コンクリート造 2階建
983.39m ²	722.39m ²	655.19m ²	1,359.38m ²	778.33m ²
318.84m ²	202.97m ²	252.99m ²	267.00m ²	344.58m ²
599.63m ²	386.57m ²	408.82m ²	423.40m ²	541.44m ²



小出出張所



鶴嶺出張所



松林出張所



海岸出張所

消防職員の年度別条例定数及び実員

()は短時間勤務再任用職員

年度	定数	実員	年度	定数	実員	年度	定数	実員
S25. 4. 1	30	30	S53. 4. 1	119	118	H18. 4. 1	239	234
S26. 4. 1	30	30	S54. 4. 1	129	128	H19. 4. 1	239	238
S27. 11. 1	32	32	S55. 4. 1	139	137	H20. 4. 1	239	238
S28. 7. 3	36	36	S56. 4. 1	149	148	H21. 4. 1	239	234
S29. 4. 1	36	44	S57. 4. 1	155	155	H22. 4. 1	239	237(2)
S30. 4. 5	44	44	S58. 4. 1	159	159	H23. 4. 1	239	235(3)
S31. 4. 1	44	44	S59. 4. 1	159	159	H24. 4. 1	239	235(1)
S32. 4. 1	44	44	S60. 4. 1	164	158	H25. 4. 1	239	233(2)
S33. 4. 1	44	44	S61. 4. 1	170	170	H26. 4. 1	239	238(3)
S34. 4. 1	47	46	S62. 4. 1	175	170	H27. 4. 1	242	242(3)
S35. 4. 1	47	46	S63. 4. 1	185	177	H28. 4. 1	248	248(3)
S36. 4. 1	47	46	H元. 4. 1	185	182	H29. 4. 1	258	254(6)
S37. 4. 1	47	47	H2. 4. 1	193	188	H30. 4. 1	258	256(5)
S38. 4. 1	49	49	H3. 4. 1	193	193	H31. 4. 1	258	255(7)
S39. 4. 1	52	52	H4. 4. 1	208	200			
S40. 10. 1	69	62	H5. 4. 1	218	208			
S41. 4. 1	69	68	H6. 4. 1	218	217			
S42. 4. 1	72	71	H7. 4. 1	218	218			
S43. 4. 1	78	75	H8. 4. 1	218	210			
S44. 4. 1	82	81	H9. 4. 1	218	210			
S45. 4. 1	90	85	H10. 4. 1	218	210			
S46. 4. 1	98	97	H11. 4. 1	218	210			
S47. 4. 1	100	99	H12. 4. 1	218	217			
S48. 4. 1	102	102	H13. 4. 1	221	220			
S49. 4. 1	112	110	H14. 4. 1	221	220(1)			
S50. 4. 1	114	114	H15. 4. 1	221	220			
S51. 4. 1	114	113	H16. 4. 1	231	230			
S52. 4. 1	116	114	H17. 4. 1	231	231			

防 予



夜間防火巡回

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

立入検査実施状況

平成30年度

用途別 区分			立 入 検 査 対 象 数	立 入 検 査 実 施 件 数	指 導 対 象 物 数	無 指 導 対 象 物 数	指導事項内容内訳						
							指 導 総 数	防 火 管 理 等	消 防 用 設 備	危 険 物 関 係	火 気 使 用 等	電 気 設 備 等	建 築 物 関 係
合 計			4,826	705	350	355	612	218	300	44	4	1	45
1項	イ	劇場・映画館	4	1		1							
	ロ	公会堂・集会場	44	11	4	7	22	12	7		1	1	1
2項	イ	キャバレー・カフェー											
	ロ	遊技場・ダンスホール	6	3	3		13	8	2				3
	ハ	風俗営業等											
	ニ	カラオケボックス等	3										
3項	イ	待合・料理店											
	ロ	飲食店	70	15	10	5	29	14	13				2
4項		百貨店・マーケット	161	18	12	6	30	16	11				3
5項	イ	旅館・ホテル	13	3	2	1	2	1	1				
	ロ	寄宿舎・共同住宅	2,776	268	163	105	181	31	147	1			2
6項	イ	病院・診療所	60	9	4	5	8	5	3				
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	55	11	5	6	20	7	9				4
	ハ	老人デイサービスセンター・児童福祉施設等	87	21	8	13	18	9	8		1		
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校	19	17	12	5	25	14	8				3
7項		小・中・高・大・各種学校	49	6		6							
8項		図書館・博物館	4										
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2	1	1		8	4	3				1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2										
10項		車両停車場	1										
11項		神社・寺院・教会	49	5	2	3	3	2	1				
12項	イ	工場・作業所	161	14	7	7	14	1	13				
	ロ	映画・テレビスタジオ											
13項	イ	自動車車庫・駐車場	3	1		1							
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫											
14項		倉庫	58	4	3	1	3		3				
15項		前各項に該当しない事業所	198	14	6	8	11	2	9				
16項	イ	特定複合用途防火対象物	569	163	65	98	166	91	50		1		24
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	209	24	15	9	17	1	12	1	1		2
17項		重要文化財・重要民俗資料	2										
		危険物製造所等	221	96	28	68	42			42			

※延べ面積150㎡未満を除く

中高層・地階建築物用途別（棟）

平成30年度

			総数	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	合計	地下 2階	地下 3階
合 計			5,452	329	311	87	51	39	10	17	15	2	6	15	6	1	889	3	2
1 項	イ	劇場・映画館	4	1													1		
	ロ	公会堂・集会場	49		1												1		
2 項	イ	キャバレー・カフェー																	
	ロ	遊技場・ダンスホール	7	1													1		
	ハ	風俗営業等																	
	ニ	カラオケボックス等	4	1													1		
3 項	イ	待合・料理店																	
	ロ	飲食店	69	1		1											2		
4 項		百貨店・マーケット	161	3	3	1											7		
5 項	イ	旅館・ホテル	13		3						1						4		
	ロ	寄宿舎・共同住宅	3,025	144	211	33	34	31	8	12	13	2	4	11	6	1	510	2	
6 項	イ	病院・診療所	59	7	1		3										11		
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	51	7	4	2											13		
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設等	86		1	1											2		
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校	27																
7 項		小・中・高・大・各種学校	127	34	3	1											38		
8 項		図書館・博物館	4																
9 項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2		1												1		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2																
10 項		車両停車場	1																
11 項		神社・寺院・教会	68																
12 項	イ	工場・作業所	356	14	6	7	2										29		
	ロ	映画・テレビスタジオ																	
13 項	イ	自動車庫・駐車場	30	2			1										3		
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫																	
14 項		倉庫	114	3													3		
15 項		前各号に該当しない事業所	412	22	7	2	1	2									34		2
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	576	70	52	30	7	4	1	5	1		2	3			175	1	
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	203	19	18	9	3	2	1					1			53		
17 項		重要文化財 ・ 重要民俗資料	2																

※「総数」は3階以下の建物を含む市内全体の棟数、「合計」は4階以上の棟数となります。

防火管理者選任状況

平成30年度

用途別			区分	防火管理者選任 義務事業所数	選任済み 事業所数	防火管理者 選任解任届	消防計画 作成変更届
合 計				976	708	339	357
1項	イ	劇場・映画館		3	3		
	ロ	公会堂・集会場		27	27	12	16
2項	イ	キャバレー・カフェー					
	ロ	遊技場・ダンスホール		6	6	2	2
	ハ	風俗営業等					
	ニ	カラオケボックス等		3	3	4	3
3項	イ	待合・料理店					
	ロ	飲食店		51	41	36	37
4項		百貨店・マーケット		79	71	64	62
5項	イ	旅館・ホテル		9	7		
	ロ	寄宿舎・共同住宅		246	146	54	51
6項	イ	病院・診療所		18	15	10	10
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等		34	34	16	21
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設等		46	45	20	21
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校		18	18	4	5
7項		小・中・高・大・各種学校		44	43	27	30
8項		図書館・博物館		3	2	1	
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等		2	2		1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					
10項		車両停車場		1	1		
11項		神社・寺院・教会		23	8	1	2
12項	イ	工場・作業所		44	33	12	15
	ロ	映画・テレビスタジオ					
13項	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫					
14項		倉庫		2	1	3	4
15項		前各項に該当しない事業所		49	40	32	37
16項	イ	特定複合用途防火対象物		240	152	38	38
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物		28	10	3	2
17項		重要文化財・重要民俗資料					

届出状況(指令情報課)

平成30年度

種別	月別												
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計	910	53	77	61	78	66	105	81	91	103	77	64	54
道 路 工 事 届	733	44	74	54	64	55	95	63	71	60	52	56	45
火 煙 発 生 届	154	8	2	5	10	4	7	16	20	42	24	8	8
煙 火 打 上 届	23	1	1	2	4	7	3	2	0	1	1	0	1

届出状況

平成30年度

種別	月別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計		4,440	459	447	338	347	321	300	448	364	350	294	330	442
防火管理者選任解任届		334	47	40	29	31	31	28	29	18	19	16	15	31
防災管理者選任解任届		5	1	1			1					2		
消防計画作成変更届		357	49	45	34	32	31	30	27	21	23	20	16	29
自衛消防組織設置変更届		7	2			1	1	2					1	
訓練実施計画書		644	32	67	52	30	35	77	77	85	41	36	35	77
防火対象物点検結果報告書		108	18	18	10	5	3	4	5	7	18	9	2	9
防災管理点検結果報告書		16	4		1	1		1		3		2	1	3
工事整備対象設備等着工届		228	27	28	22	25	22	10	18	10	19	16	12	19
消防用設備等設置届		473	26	33	31	49	41	30	43	24	31	28	59	78
消防設備等点検結果報告書		1,546	201	176	111	97	81	74	173	128	133	107	124	141
防火対象物使用開始届		264	11	16	22	17	16	18	20	24	27	28	40	25
電気設備設置届		59	5		4	3	12	2	2	4		6	9	12
火を使用する設備等設置届		49	6	2	6	9	6	1	5	8		3	1	2
催物開催届		3					1		2					
露店等の開設届出書		95	9	6	4	24	16	4	14	7		2	5	4
火気使用等許可申請書		24	4	2	1		1	2	1	1	2	3	2	5
液化石油ガス等の届出等		17	2	1	1		5	1	1		4	1		1
指定数量以上の危険物申請等		186	14	12	8	20	13	12	30	22	30	13	7	5
指定数量未満の危険物届出等		25	1		2	3	5	4	1	2	3	2	1	1

訓練

平成30年度

		訓練用品貸出状況(件数)		119番 通報訓練 (回数)
		訓練用水消火器	火災予防啓発用DVD	
		168	40	163
1項	イ	1		1
	ロ	22	5	23
2項	イ			
	ロ	1		1
	ハ ニ			1
3項ロ				
4項		6		14
5項	イ	2	2	
	ロ	15	1	10
6項	イ	5	1	6
	ロ	41	9	24
	ハ ニ	39 1	10	51 2
7項		2		3
8項				1
9項	イ			
	ロ			1
10項				
11項				1
12項	イ	7	1	4
	ロ			
13項	イ			
	ロ			
14項				
15項		12	5	11
16項	イ	14	6	9
	ロ			
17項				

一般建築物確認申請月別

平成30年度

区分 月別	合 計		新 築		増築（敷地）		増改築（建物）		計画変更	許可申請
	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	件 数
合 計	1,153	115,401.7	1,060	114,314.6	6	593.6	15	493.5	59	13
4 月	89	8,085.2	82	8,085.2					4	3
5 月	80	7,800.3	76	7,683.4			1	116.9	3	
6 月	86	7,877.1	75	7,877.1					10	1
7 月	119	12,612.2	115	12,594.8	1	17.4			2	1
8 月	133	14,227.2	128	14,060.6	1	166.6			3	1
9 月	85	8,258.2	77	8,229.0	1	3.2	3	26.0	4	
10 月	98	10,692.7	93	10,332.9	1	243.0	1	116.8	2	1
11 月	83	8,552.2	78	8,508.8			2	43.4	3	
12 月	96	10,039.0	88	10,016.3			1	22.7	7	
1 月	93	9,722.8	81	9,670.7			4	52.1	3	5
2 月	71	6,376.6	60	6,350.1			1	26.5	10	
3 月	120	11,158.2	107	10,905.7	2	163.4	2	89.1	8	1

面積単位（㎡）

特殊建築物確認申請月別

平成30年度

区分 月別	合計		新築		増築（敷地）		増改築（建物）		用途変更		計画通知		計画変更	許可申請
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	件数
合 計	210	59,990.2	127	55,173.9	6	523.4	3	57.7	6	1,603.6	9	2,631.6	36	23
4 月	13	1,845.8	6	1,156.5					1	170.2	5	519.1		1
5 月	29	1,720.7	7	1,569.9					1	150.8			8	13
6 月	21	3,414.1	12	3,359.6			1	15.2			1	39.3	7	
7 月	18	1,687.8	10	1,687.8									6	2
8 月	17	5,041.6	14	4,972.3	1	45.0	1	24.3						1
9 月	18	22,627.9	17	22,503.4	1	124.5								
10 月	18	7,233.3	11	7,217.2							1	16.1	2	4
11 月	16	4,594.5	13	2,537.4							2	2,057.1		1
12 月	11	1,341.1	3	966.1	2	215.0			2	160.0			4	
1 月	15	4,628.7	9	3,815.6	1	66.9	1	18.2	1	728.0			2	1
2 月	13	2,413.5	10	2,018.9					1	394.6			2	
3 月	21	3,441.2	15	3,369.2	1	72.0							5	

面積単位（㎡）

特殊建築物確認申請用途別

平成30年度

用途別 区分			合 計		新築		増築(敷地)		増改築(建物)		用途変更		計画通知		計画変更	許可申請
			件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	件数
合 計			210	59,990.2	127	55,173.9	6	523.4	3	57.7	6	1,603.6	9	2,631.6	36	23
1項	イ	劇場・映画館														
	ロ	公会堂・集会場														
2項	イ	キャバレー・カフェ														
	ロ	遊技場・ダンスホール														
	ハ	風俗営業等														
	ニ	カラオケボックス等														
3項	イ	待合・料理店														
	ロ	飲食店	6	1,121.2	5	1,121.2										1
4項		百貨店・マーケット	14	3,672.4	11	3,457.4	2	215.0							1	
5項	イ	旅館・ホテル	2	946.2	1	946.2									1	
	ロ	寄宿舎・共同住宅	93	17,211.9	70	17,211.9									23	
6項	イ	病院・診療所	1	201.2	1	201.2										
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	6	3,878.0	3	3,853.7			1	24.3					1	1
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設等	9	2,578.1	5	1,134.5					4	1,443.6				
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校	1	124.5			1	124.5								
7項		小・中・高・大・各種学校	7	1,005.6	3	1,005.6									1	3
8項		図書館・博物館	2	2,057.1									2	2,057.1		
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等														
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場														
10項		車両停車場														
11項		神社・寺院・教会														
12項	イ	工場・作業所	5	901.8	2	744.7	2	138.9	1	18.2						
	ロ	映画・テレビスタジオ														
13項	イ	自動車庫・駐車場	2	78.9	1	39.6							1	39.3		
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫														
14項		倉庫	5	19,633.9	5	19,633.9										
15項		前各号に該当しない事業所	28	443.2	5	382.1	1	45.0					1	16.1	3	18
16項	イ	特定複合用途防火対象物	23	5,261.0	11	4,566.7			1	15.2	2	160.0	5	519.1	4	
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	6	875.2	4	875.2									2	
17項		重要文化財・重要民俗資料														

面積単位 (㎡)

危険物施設

倍数別危険物施設数(完成検査済施設)

平成30年度

製造所等の別 区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク貯蔵所	屋 内 タンク貯蔵所	地下 タンク貯蔵所	簡 易 タンク貯蔵所	移 動 タンク貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給油取扱所			販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
												営 業 用	自 家 用	鉄 道		
施 設 数	221	10	139	62	15	4	44	4	5	5	72	13	13		1	45
5倍以下	73	1	55	28		3	14	4	5	1	17		1		1	15
5倍を超え 10倍以下	64	2	35	15	2		14			4	27		3			24
10 "																
50 "	53	3	37	16	6	1	14				13		8			5
50 "																
100 "	9	1	5	1	2		2				3	1	1			1
100 "																
150 "	3	2	1		1											
150 "																
200 "	6		4	2	2						2	2				
200 "																
1000 "	13	1	2		2						10	10				
1000 "																
5000 "																

類別危険物施設数(完成検査済施設)

平成30年度

製造所等の別 区分		合 計	製 造 所	貯蔵所								取扱所					
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給油取扱所			販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
													営 業 用	自 家 用	鉄 道		
施設数		221	10	139	62	15	4	44	4	5	5	72	13	13		1	45
単 独	第1類																
	第2類	3		3	3												
	第3類	1		1	1												
	第4類	201	5	127	50	15	4	44	4	5	5	69	13	13		1	42
	第5類	1		1	1												
	第6類																
混在		15	5	7	7							3					3

危険物申請手数料収入状況

手数料単位(円)

平成30年度

手数料の 区分 製造所 等の区分		合 計	許可		完成検査		仮使用 承認	完成検査 前検査		仮貯蔵 ・ 仮取扱
			設置	変更	設置	変更		水張	水圧	
合 計	件数	94	4	29	4	28	18	0	4	7
	手数料	1,459,250	111,000	757,000	46,000	362,250	97,200	0	48,000	37,800
製造所	件数	33	1	10		11	7		4	
	手数料	630,300	39,000	330,500		175,000	37,800		48,000	
屋内貯蔵所	件数	5	1	1	1	1	1			
	手数料	84,900	20,000	33,000	10,000	16,500	5,400			
屋外タンク 貯蔵所	件数	6		2	1	2	1			
	手数料	49,900		23,000	10,000	11,500	5,400			
屋内タンク 貯蔵所	件数	0								
	手数料	0								
地下タンク 貯蔵所	件数	9	2	2	2	2	1			
	手数料	122,400	52,000	26,000	26,000	13,000	5,400			
簡易タンク 貯蔵所	件数	0								
	手数料	0								
移動タンク 貯蔵所	件数	0								
	手数料	0								
屋外貯蔵所	件数	0								
	手数料	0								
給油取扱所	件数	12		5		4	3			
	手数料	198,200		130,000		52,000	16,200			
販売取扱所	件数	0								
	手数料	0								
一般取扱所	件数	22		9		8	5			
	手数料	335,750		214,500		94,250	27,000			
その他	件数	7								7
	手数料	37,800								37,800

平成30年度防火ポスター・作文コンクール

	小学生	中学生	合 計
防 火 ポ ス タ ー	558	55	613
防 火 作 文	15	42	57

作 文 入 賞 者

◎ 小 学 生 の 部

市長賞	香川小学校	3年	金子 咲陽 「かくれたヒーロー」
教育長賞	浜須賀小学校	5年	奥田 慧 「ぼくのるす番のときに」
消防長賞	香川小学校	6年	宮下 桃佳 「自分から行う防災活動の大切さ」

◎ 中 学 生 の 部

市長賞	中島中学校	3年	篠崎 眞秀 「地域の中で生きている」
教育長賞	中島中学校	3年	本田 空大 「無意識の防火」
消防長賞	中島中学校	3年	福山 果歩 「火元の確認を怠らないこと」

ポスター入賞者

【市長賞】

◎小学1・2年生の部



香川小2年 吉田翔音

◎小学3・4年生の部



小和田小4年 小林愛七

◎小学5・6年生の部



浜須賀小6年 石井 晴

◎中学生の部



中島中3年 山口承太郎

ポスター入賞者

【教育長賞】

◎小学1・2年生の部



小和田小2年 大藤琥明

◎小学3・4年生の部



小和田小4年 関戸 滯

◎小学5・6年生の部



鶴嶺小5年 佐藤駿太

◎中学生の部



中島中1年 山口遥子

ポスター入賞者

【消防長賞】

◎小学1・2年生の部



鶴嶺小2年 佐藤紫虎

◎小学3・4年生の部



小出小3年 佐藤 旭

◎小学5・6年生の部



香川小6年 川端菜月

◎中学生の部



梅田中3年 金子葉乙季

警 防



大規模火災想定訓練

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

開発事業

開発行為の指導目的

建築及び開発行為に関し、消防活動上必要な設備等の設置を指導することにより、秩序あるまちづくりの促進を図り、もって安全な都市環境を形成することを目的としています。

年度内に開発協議を実施した件数

茅ヶ崎市まちづくり条例・都市計画法 に基づく開発協議		平成29年度	平成30年度
協議書提出数	合 計	83	77
	指導なし	68	65
	指導あり	15	12

年度内に完了検査を実施した件数

内 容	平成29年度	平成30年度
消 火 栓	0	0
防 火 水 槽（40 m ³ 以上）	3	4
消 防 活 動 空 地	1	2
消防活動空地（代替）※	7	4

※消防活動空地（代替）とは、消防活動空地の設置ができない場合に、消防隊が建物に進入するための経路として、固定式の金属製避難はしご等を設置するものです。

水 利

消防水利設置数（公設・私設）

平成31年4月1日現在

	合計	公設	私設
消防水利	3,102	2,608	494

（内訳）

消火栓

	合計	公設	私設
消火栓	2,430	2,336	94

防火水槽

	合計	公設	私設
計	603	230	373
100m ³ 以上	39	29	10
60m ³ 以上	56	9	47
40m ³ 以上	405	157	248
20m ³ 以上	99	31	68
20m ³ 未満	4	4	0

その他の水利

	合計	公設	私設
計	69	42	27
プール	39	32	7
その他	30	10	20

公設消火栓現有数

平成31年4月1日現在

管区 口径	合計	水道管口径											
		75 mm	100 mm	150 mm	200 mm	250 mm	300 mm	350 mm	400 mm	450 mm	500 mm	600 mm	700 mm
合 計	2,336	5	1,357	444	299	18	84	5	48	5	12	44	15
本 署 管 区	551	0	303	103	93	7	16	0	28	0	1	0	0
小和田管区	428	0	270	78	15	3	15	1	19	0	3	14	10
小 出 管 区	322	1	215	48	39	0	19	0	0	0	0	0	0
鶴 嶺 管 区	185	0	113	25	30	0	1	1	0	0	0	15	0
松 林 管 区	459	0	255	102	70	0	3	3	1	5	8	7	5
海 岸 管 区	391	4	201	88	52	8	30	0	0	0	0	8	0

公設防火水槽現有数

平成31年4月1日現在

管区 容量	合計	水槽容量				
		10～19 m ³	20～39 m ³	40～59 m ³	60～99 m ³	100以上 m ³
合 計	230	4	31	157	9	29
本 署 管 区	61	1	5	48	3	4
小 和 田 管 区	29	0	3	20	0	6
小 出 管 区	47	1	15	28	2	1
鶴 嶺 管 区	16	0	0	12	0	4
松 林 管 区	41	1	8	26	1	5
海 岸 管 区	36	1	0	23	3	9

車両配置別内訳

平成31年4月1日現在

種別	総数	本部	本署	小和田出張所	小出出張所	鶴嶺出張所	松林出張所	海岸出張所	備考
消防ポンプ自動車	6		1	1	1	1	1	1	
非常用消防ポンプ自動車	2		1			1			
水槽付消防ポンプ自動車	2						1	1	
指揮車	1		1						
化学消防自動車	1		1						
梯子消防自動車	2		1	1					
救助工作車	2		1					1	
高規格救急自動車	7		2	1	1	1	1	1	
非常用高規格救急自動車	2		2						
資機材搬送車	1		1						
特殊災害対応自動車	1		1						
燃料補給車	1		1						
防災活動車	1	1							
水防指揮車	1	1							
広報車	1	1							
人員搬送車	2		2						
緊急車両以外の車両	5	2	2			1			
合計	38	5	17	3	2	4	3	4	

車両別内訳（常備）

平成31年4月1日現在

配 置		種 別	名 称	シャシ区-カー	全長(mm)	全幅(mm)	全高(mm)	車両総重量(kg)	購入年度	登録番号	緊急車両登録	備考
消防本部	消防総務課	連絡車	—	ホンダ	4,110	1,690	1,740	1,515	H15	湘南501す8674	—	緊急通行車両等事前届出済証
	予防課	査察車	—	ダイハツ	3,390	1,470	1,870	1,360	H27	湘南480さ4754	—	緊急通行車両等事前届出済証
		広報車	予防1	ニッサン	4,690	1,690	2,140	3,085	H19	湘南800す4525	○	
	警防救命課	防災活動車	警防1	三菱	4,770	1,790	2,020	2,220	H24	湘南800す7813	○	(財)日本消防協会寄贈
		水防指揮車	警防2	ニッサン	4,470	1,760	1,820	1,715	H18	湘南800す3374	○	
消防署	警防救命課	資機材搬送車	警防資機材1	三菱	6,280	1,930	3,000	6,045	H19	湘南800す4243	○	緊急消防援助隊登録車両
	消防指導課	連絡車	—	トヨタ	4,840	1,710	1,460	1,695	H10	湘南300さ3279	—	緊急通行車両等事前届出済証
		人員搬送車	指導1	ニッサン	4,990	1,690	2,250	2,480	H18	湘南800す3351	○	
		人員搬送車	救命1	ニッサン	4,990	1,690	2,250	2,450	H18	湘南800す3350	○	
		査察車	—	ニッサン	3,390	1,470	1,780	1,380	H21	湘南480か7078	—	緊急通行車両等事前届出済証
		指揮車	指揮1	トヨタ	4,730	1,690	2,510	3,150	H11	湘南800さ3652	○	
	本署	消防ポンプ自動車	本署1	日野	5,770	1,900	3,050	6,335	H23	湘南800す7129	○	
		化学消防自動車	化学1	日野	7,320	2,330	2,950	10,750	H29	湘南800 は 997	○	緊急消防援助隊登録車両
		3.5m梯子消防自動車	梯子1	UD	10,910	2,490	3,640	19,870	H15	湘南830 は 119	○	
		救助工作車	救助1	日野	7,700	2,300	3,200	10,685	H18	湘南800 は 451	○	
		高規格救急自動車	本署救急1	トヨタ	5,650	1,890	2,490	3,135	H27	湘南800す9661	○	とき3号
		高規格救急自動車	本署救急2	トヨタ	5,650	1,890	2,490	3,205	H29	湘南800せ1124	○	緊急消防援助隊登録車両 とき6号
		高規格救急自動車	救急1	トヨタ	5,640	1,890	2,540	3,135	H20	湘南800す5270	○	非常用車両
		高規格救急自動車	救急2	トヨタ	5,630	1,890	2,550	3,135	H19	湘南800す4621	○	非常用車両
		特殊災害対応自動車	特災1	日野	6,460	2,240	3,100	7,145	H21	湘南800す6033	○	
		燃料補給車	—	いすゞ	4,720	1,740	2,130	3,815	H26	湘南800す9015	○	
		消防ポンプ自動車	ポンプ1	三菱	5,650	1,880	2,780	6,570	H14	湘南800さ8933	○	
		消防ポンプ自動車	小和田1	日野	6,000	1,900	2,950	5,885	H21	湘南800す5887	○	消防ポンプ付救助自動車
	小和田出張所	1.6m屈折梯子消防自動車	屈折1	日野	7,260	2,300	3,430	12,250	H23	湘南800は 687	○	
	小出出張所	高規格救急自動車	小和田救急1	トヨタ	5,620	1,890	2,490	3,045	H24	湘南800す7693	○	とき1号
		消防ポンプ自動車	小出1	三菱	5,800	1,880	2,950	6,940	H18	湘南800す3801	○	
	鶴嶺出張所	高規格救急自動車	小出救急1	トヨタ	5,650	1,890	2,490	3,205	H26	湘南800す9102	○	緊急消防援助隊登録車両 とき2号
		消防ポンプ自動車	鶴嶺1	日野	5,660	1,880	2,800	6,600	H13	湘南800さ6970	○	非常用車両
		消防ポンプ自動車	鶴嶺2	日野	5,890	1,910	2,750	5,255	H22	湘南800す6533	○	消防ポンプ付水難救助自動車
		水上オートバイ用トレーラー	—	—	4,150	1,630	840	650	H24	湘南800る 683	—	
		高規格救急自動車	鶴嶺救急1	トヨタ	5,650	1,890	2,460	3,205	H30	湘南800す1695	○	とき7号
	松林出張所	消防ポンプ自動車	松林1	日野	5,830	1,890	2,820	6,640	H20	湘南800す5318	○	
		水槽付消防ポンプ自動車	水槽2	三菱	7,060	2,200	2,880	9,195	H17	湘南800 は 370	○	
		高規格救急自動車	松林救急1	トヨタ	5,650	1,890	2,490	3,195	H28	湘南800せ424	○	とき5号
	海岸出張所	消防ポンプ自動車	海岸1	日野	5,740	1,890	2,870	6,635	H28	湘南800せ553	○	緊急消防援助隊登録車両
		水槽付消防ポンプ自動車	水槽1	日野	6,980	2,200	2,880	9,405	H18	湘南800 は 448	○	
		水難救助工作車	水難1	いすゞ	8,600	2,480	3,380	10,040	H22	湘南800は 648	○	
		高規格救急自動車	海岸救急1	トヨタ	5,620	1,890	2,540	3,105	H22	湘南800す6435	○	

主な消防用資機材一覧

積載車両	種別	品名
救助工作車	一般救助器具	かざ付き梯子
		三連梯子
		ワイヤー梯子
		救命索発射銃
		サバイバースリング
		平担架
		ロープ
		カラビナ
		滑車
	重量物排除用器具	油圧ジャッキ
		油圧スプレッダー
		可搬ウィンチ
		ワイヤーロープ
		マンホール救助器具
		マット式空気ジャッキ
		救助用支柱器具
	破壊用器具	破壊斧
		ハンマー
		削岩機
		ハンマードリル
	切断用器具	油圧切断機
		エンジンカッター
		ガス溶断機
		チェーンソー
		鉄線カッター
		空気鋸
	呼吸・隊員用保護用器具	空気呼吸器
		送排風機
		革手袋
		安全帯
		防塵メガネ
		携帯警報器
	検知測定用器具	可燃性ガス測定器

積載車両	種別	品名
救助工作車	その他の救助用器具	投光器一式
		携帯投光器
		携帯拡声器
		携帯無線機
		応急処置用セット
		緩降機

積載車両	種別	品名
水難救助工作車	水難救助器具	潜水器具一式
		救命胴衣
		水中投光器
		救命浮環
		レスキューチューブ
		救命ボート及び船外機一式
		水上オートバイ
		ライフスレッド

積載車両	種別	品名
高規格救急自動車	高度救命処置用資機材	半自動除細動器
		輸液ポンプ
		人工呼吸器
		吸引器
		酸素吸入器
		メインストレッチャー
		スクープストレッチャー
		バックボード
		心電図伝送装置
		ベッドサイドモニター
		血中酸素飽和度測定器
		屋内塗装用自動噴霧器

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

通 信 ・ 気 象



茅ヶ崎市・寒川町消防指令センター

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

通 信

有線系

名 称	内 容
指令室専用FAX	指令情報課専用FAX(0467-85-1112)
災害案内	茅ヶ崎市内で発生している災害情報の案内(0467-82-2119)
救急情報案内	夜間や日曜・休日の病院案内(0467-85-0119)
指令専用回線	本署、小和田・小出・鶴嶺・松林・海岸の各出張所、寒川町消防署への指令専用回線
不在時対応電話	本署、小和田・小出・鶴嶺・松林・海岸の各出張所、寒川町消防署の不在時に指令センターへ連絡できる内線電話
市立病院直通電話	茅ヶ崎市立病院との内線電話

無線系

基 地 局 名 称	内 容
デジタル無線基地局	統制波(1・2・3)・主運用波6・活動波(1・2・3)

茅ヶ崎市 移動局

消 防 本 部		
種 類	名 称	台 数
活 動 用 無 線 (260MHz帯)	可 搬 型 無 線 機	10 機
	車 載 無 線 機	29 機
	携 帯 無 線 機	53 機
そ の 他 無 線 (400MHz帯)	署 活 動 携 帯 無 線 機 (5 波)	62 機

消 防 団		
種 類	名 称	台 数
活 動 用 無 線 (260MHz帯)	可 搬 型 無 線 機 (車載用)	31 機
そ の 他 無 線 (351MHz帯)	デ ジ タ ル 簡 易 無 線 機	72 機
そ の 他 無 線 (400MHz帯)	署 活 動 携 帯 無 線 機 (3 波)	67 機

寒川町 移動局

消 防 本 部		
種 類	名 称	台 数
活 動 用 無 線 (260MHz帯)	可 搬 型 無 線 機	1 機
	車 載 無 線 機	9 機
	携 帯 無 線 機	8 機
そ の 他 無 線 (400MHz帯)	署 活 動 携 帯 無 線 機 (5 波)	20 機

消 防 団		
種 類	名 称	台 数
そ の 他 無 線 (400MHz帯)	署 活 動 携 帯 無 線 機 (3 波)	10 機

平成30年119番通報受付記録

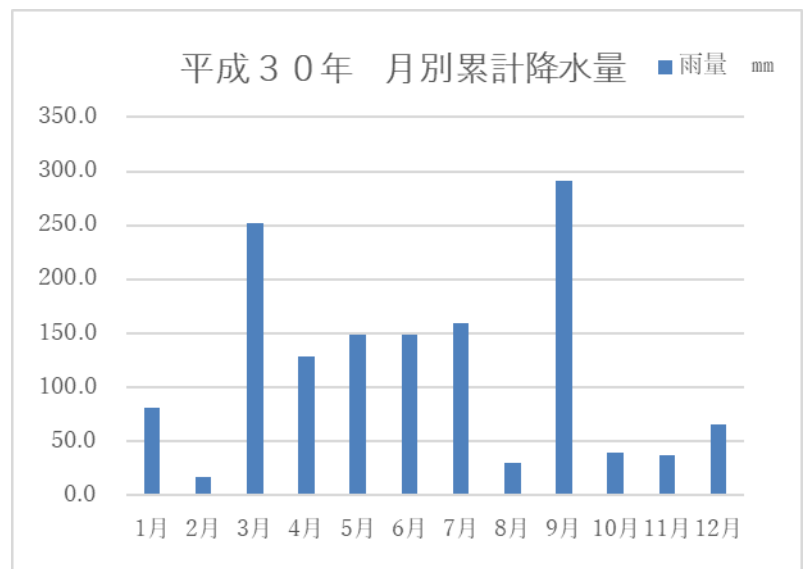
		NTT一般電話	IP電話	携帯電話	携帯電話 転送受け	加入	合計
災害通報	火 災	13	36	74	11	2	136
	救 急	2,664	4,951	5,554	185	135	13,489
	救 助	4	4	15	1	6	30
	水 難		1	3		6	10
	警 戒	11	19	64	3	23	120
	その他	48	87	212	5	5	357
非災害通報	間違い	251	155	555	8		969
	いたずら	159	21	182	2		364
	問合せ	195	311	702	24		1,232
	訓 練	156	113	31			300
	試 験	184	20	65	2		271
合 計		3,685	5,718	7,457	241	177	17,278

※ 119番通報件数は、茅ヶ崎市、寒川町の合計件数

自然災害状況

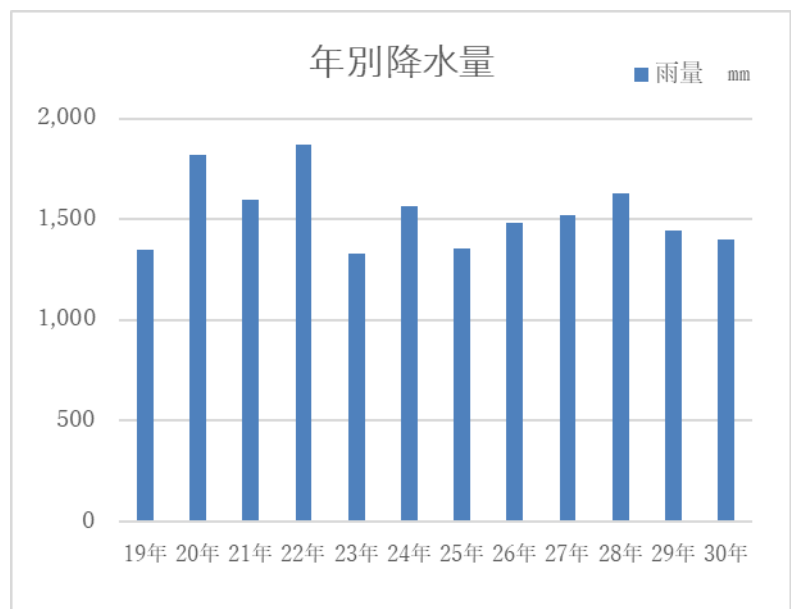
平成30年 月別累計降水量

	雨量 mm
1月	81.5
2月	16.5
3月	252.5
4月	128.0
5月	148.5
6月	149.0
7月	159.0
8月	30.0
9月	291.5
10月	39.0
11月	37.5
12月	65.0
計	1398.0



平成19年～平成30年 年別降水量

	雨量 mm
19年	1,348
20年	1,820
21年	1,598
22年	1,868
23年	1,330
24年	1,567
25年	1,357
26年	1,484
27年	1,521
28年	1,630
29年	1,447
30年	1,398



気象警報・注意報発表件数

平成30年中

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計		255	33	24	25	19	18	16	32	24	27	13	8	16
警 報	大 雨	5	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0
	波 浪	5	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0
	洪 水	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	暴 風	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	大 雪	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高 潮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	15	1	0	2	1	0	0	5	2	4	0	0	0
注 意 報	強 風	90	13	11	10	9	6	6	3	3	7	6	5	11
	雷	53	1	1	3	1	7	4	11	11	8	3	2	1
	大 雨	18	0	0	2	2	1	0	6	3	4	0	0	0
	波 浪	33	4	3	3	4	3	3	3	4	3	3	0	0
	乾 燥	14	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1	4
	洪 水	9	0	0	2	0	1	1	2	1	1	1	0	0
	濃 霧	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	低 温	13	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	風 雪	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大 雪	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着 雪	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	霜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高 潮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	240	32	24	23	18	18	16	27	22	23	13	8	16

防 災 対 策



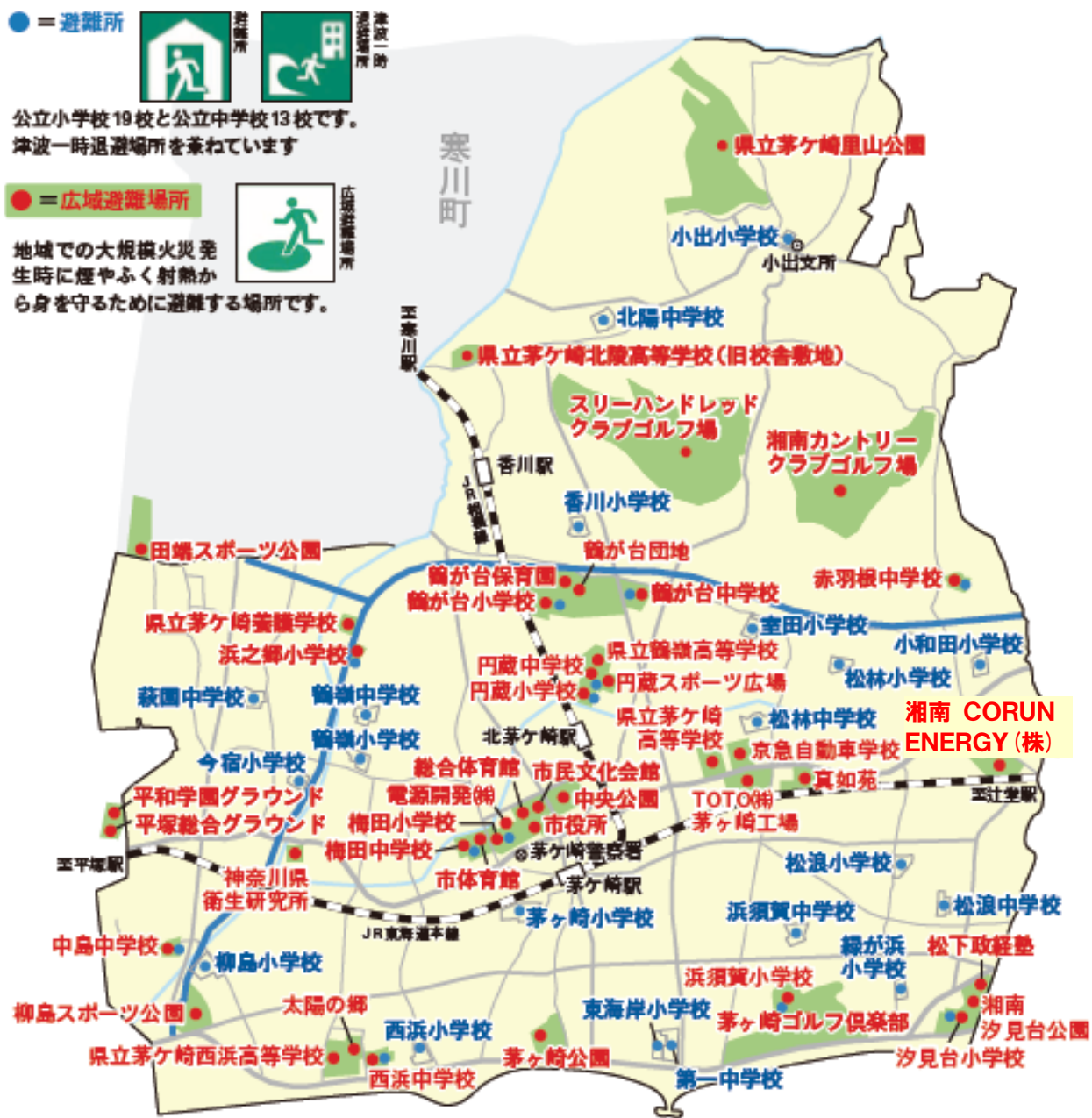
平成30年度
第1回防災リーダー養成研修

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

広域避難場所・避難所位置図



※市民便利帳ちがさき生活ガイド2018年度版より

●広域避難場所

広域避難場所は、大地震などにより大規模な火災が発生したときに、ふく射熱や煙などの危険から緊急的に身を守るために避難する場所です。

●避難所（地区防災拠点）

災害時の避難、救護、情報の拠点及び住宅が被害を受け居住の場を失った人が避難生活をする場として市内の公立小学校 19 校、公立中学校 13 校を避難所（地区防災拠点）に指定しています。また、避難所のうち原則、中学校は、医療救護所を兼ねています。

災害用耐震性プール

(平成31年4月1日現在)

設置場所	貯水量 (m³)	設置場所	貯水量 (m³)	設置場所	貯水量 (m³)
茅ヶ崎小学校	335	小和田小学校	345	西浜中学校	390
鶴嶺小学校	337	円蔵小学校	345	赤羽根中学校	390
松林小学校	384	今宿小学校	325	萩園中学校	390
西浜小学校	347	室田小学校	345	県立茅ヶ崎高校	516
小出小学校	425	東海岸小学校	193	県立鶴嶺高校	383
松浪小学校	345	浜之郷小学校	345	殿山公園	450
梅田小学校	345	緑が浜小学校	291	小和田浜公園	325
香川小学校	345	汐見台小学校	325	屋内温水プール	426
浜須賀小学校	298	第一中学校	393	林水泳教室	480
鶴が台小学校	332	鶴嶺中学校	393	湘南スイミングスクール	375
柳島小学校	337	松林中学校	393	茅ヶ崎太陽の郷	200
				合計	11,848

飲料水兼用貯水槽

(平成31年4月1日現在)

年度	区分	設置場所	設置数	水槽容量	年度	区分	設置場所	設置数	水槽容量
平成元年度		中央公園	1	100m³	6年度		浜之郷公園	1	〃
2年度		浜須賀中学校	1	〃	8年度		西浜中学校	1	〃
3年度		萩園中学校	1	〃	12年度		緑が浜小学校	1	〃
4年度		東小和田公園	1	〃	26年度		しろやま公園 (浜見平)	1	〃
5年度		茅ヶ崎公園野球場	1	〃	合計			9	900m³

防災備蓄倉庫設置状況

・ 防災倉庫 11カ所

(市総合体育館・茅ヶ崎公園野球場・茅ヶ崎市消防署・消防小和田出張所・市役所・中央公園・老人憩の家皆楽荘・しろやま公園・北部地区防災備蓄倉庫・小桜町防災倉庫・柳島スポーツ公園)

・ 防災コンテナ倉庫等 41カ所

(小学校19校・中学校12校・高等学校5校・小出暫定スポーツ広場・消防小出出張所・TOTO株式会社茅ヶ崎工場・社会福祉法人翔の会「空と海」・県立茅ヶ崎里山公園・)

防災備蓄倉庫備蓄状況

(平成31年4月1日現在)

資機材名	数量	備考	資機材名	数量	備考
ろ水機	62	市37+学校25 (プール)	毛布	33,636	
給水ポンプ	9	飲料水兼用貯水槽	掛矢	145	径165mm
給水タンク	142	1m用2基・0.5m用7基・0.25m用133基	スコップ	117	剣スコ112本・角スコ5本
炊飯器	40	移動式炊飯器4・平釜セット36	金テコ棒	217	大・中・小
テント	404	防災テント55張・プライベートテント349張	ノコギリ	230	先丸360mm
ブルーシート	2,336	3.6m×5.4m1,864枚・10m×10m472枚	担架	362	
ゴザ	338	6畳用	ツルハシ	139	

防災行政用無線屋外拡声子局設置場所

茅ヶ崎市防災行政用無線屋外拡声子局は昭和５７年より整備を始め、現在１１９局設置しています。

平成３１年４月１日現在

No.	局名	No.	局名	No.	局名
1	下馬楽観音	42	新田・八幡神社	83	松浪一丁目１０
2	宝蔵寺西	43	今宿第１公園	84	柳島第３公園
3	芹沢久組自治会館	44	今宿自治会館	85	浜見平保育園西
4	消防署小出出張所	45	鶴嶺八幡宮東	86	ハマミーナ
5	平成15年度に撤去	46	円蔵第１公園	87	南湖・住吉神社
6	善谷寺南	47	円蔵中学校	88	中海岸第２公園
7	小出支所	48	松林中学校	89	市美術館
8	長岡病院東	49	松林・網久保公園	90	警察署独身寮東
9	丸山公園	50	松林小学校	91	平和町第２公園
10	西羽根沢公園	51	菱沼市営住宅東	92	松浪小学校
11	茅ヶ崎北陵高校	52	中島番屋	93	松浪コミセン
12	下寺尾自治会館	53	下町屋・神明神社	94	柳島記念館
13	白峰寺	54	下町屋河畔公園	95	柳島キャンプ場
14	ふれあいの森南	55	鳥井戸橋参道	96	茅ヶ崎西浜高校
15	正覚院	56	浜之郷公園	97	西浜中学校南
16	第１７分団器具置場	57	矢畑・本社宮	98	西浜小学校南
17	子どもの園	58	消防署	99	茅ヶ崎漁港
18	妙伝寺南	59	小和田・熊野神社	100	茅ヶ崎公園
19	市民の森	60	本宿町４	101	駅南口入口交差点南
20	湘南カントリークラブ	61	赤松公園南	102	東海岸南第３公園
21	浄心寺	62	小和田小学校	103	第一中学校
22	香川第２公園	63	中島・日枝神社	104	茅ヶ崎ゴルフ倶楽部
23	諏訪神社	64	筏場児童遊園	105	ヘッドランド東
24	松風台西公園	65	浜之郷第４公園	106	小和田浜公園
25	香川小学校	66	第六天神社	107	チサン南
26	鶴が台小学校	67	市役所	108	平和学園
27	鶴が台中学校	68	本村・八王子神社	109	茅ヶ崎学園西
28	なぎさ保育園東	69	市立病院	110	茅ヶ崎里山公園
29	殿山公園	70	松が丘保育園	111	神奈川県衛生研究所
30	赤羽根長太郎団地	71	ひばりが丘４	112	浜之郷小学校
31	萩園走内公園	72	美住町１３	113	松浪中学校
32	萩園第２公園	73	浜竹幼稚園	114	茅ヶ崎駅北口
33	満福寺	74	中島中学校	115	環境事業センター
34	萩園第３公園	75	善福寺	116	汐見台小学校
35	西久保・日吉神社	76	金刀比羅神社	117	上赤羽根自治会館
36	円蔵・神明神社	77	茅ヶ崎小学校	118	柳島小学校
37	高田第１公園	78	徳洲会病院	119	小出小学校
38	神奈川中央交通	79	若松町５	120	小桜町１
39	室田小学校	80	茅ヶ崎高校	121	赤羽根１号公園
40	中赤羽根自治会館東	81	浜須賀中学校		
41	菱沼一丁目７	82	松浪自治会館		

(注１) No. 5 は平成１５年度に撤去しました。

(注２) No. 7 及びNo. 119 は受信機を共有しているため、１局となります。

訓練・研修

訓練種別

平成30年度

種別 訓練・研修	訓練回数	防災講話	ホース格納箱取扱	消火器取扱	資機材取扱い	救急・救出訓練	起震車体験	煙体験	給食給水	情報伝達	避難誘導	安否確認
全体合計	196	28	47	12	12	35	15	12	14	9	3	9
【地区訓練】												
自治会連合会 まちづから協議会	171	25	45	11	8	26	11	10	14	9	3	9
【その他の訓練】												
事業所等	8	1		1	1	1	2	2				
消防・防災フェスティバル	1						1					
市民祭り等	1						1					
【研修等】												
防災リーダー養成研修	8	2	2		2	2						
防災訓練フォローアップ研修	7				1	6						
延べ参加人数	約16,600人											

(注1) 単位自治会等で実施した訓練は一部、含まれておりません。

(注2) 延べ参加人数は概算となります。

地震対策用街頭消火器設置状況（平成27年度～平成30年度）

地区別 区分	茅ヶ崎地区	茅ヶ崎南地区	南湖地区	海岸地区	鶴嶺東地区	鶴嶺西地区	湘南地区	松林地区	湘北地区	小和田地区	松浪地区	浜須賀地区	小出地区	合計
自治会数	20	6	6	12	9	10	9	9	7	6	14	12	17	137
平成27年度	335		143	301	356	174	132	248	204	139	267	143	233	2,675
平成28年度	325		139	291	358	171	129	246	212	144	258	140	232	2,645
平成29年度	232	161	138	214	353	168	129	244	212	144	255	139	230	2,619
平成30年度	237	159	137	212	352	168	130	244	212	143	254	139	230	2,617

自主防災組織

各地区内自主防災組織（１３７組織）

平成３１年４月１日現在

茅ヶ崎地区〔２０〕

本町第一
本町第二
本町第四
茅ヶ崎グリーンハイツ
パークタウン茅ヶ崎
パークタウン茅ヶ崎第二住宅
元町第一
元町第二
新栄町第一
新栄町第二
十間坂
矢畑南
ニューライフ
茅ヶ崎グランドハイツ
藤和茅ヶ崎ハイタウン
藤和ハイタウン湘南茅ヶ崎
パークスクエア湘南茅ヶ崎
レクセルマンション茅ヶ崎
ザ・パークハウス茅ヶ崎
電源開発茅ヶ崎社宅親睦会

茅ヶ崎南地区〔６〕

若松町幸
共恵中央
共恵東
幸町
共恵海岸通り
中海岸

海岸地区〔１２〕

東海岸北一丁目
東海岸北二丁目
東海岸北三丁目
東海岸北四丁目
東海岸北五丁目
東海岸南一丁目
東海岸南二丁目
東海岸南三丁目
東海岸南四丁目
東海岸南五丁目
東海岸南六丁目
パシフィックガーデン茅ヶ崎

南湖地区〔６〕

茶屋町
鳥井戸
上町
中町
下町
新南湖

湘南地区〔９〕

中島
柳島
松尾
浜見平団地
松風
茅ヶ崎ガーデンハウス
エクシード茅ヶ崎
ベルパーク湘南茅ヶ崎
グランヴァーク茅ヶ崎

鶴嶺東地区〔９〕

円蔵
矢畑
西久保
浜之郷
下町屋
TBS
サニータウン茅ヶ崎
ホームタウン茅ヶ崎
ライオンズ茅ヶ崎ザ・アイランズ

鶴嶺西地区〔１０〕

萩園
新田
今宿
今宿グリーンハイム
コスモ茅ヶ崎プレシオ
萩園サンハイム
ファミール茅ヶ崎
第一ハイツ茅ヶ崎
ライオンズマンション茅ヶ崎第三
リストージ茅ヶ崎ツインマークス

松林地区〔９〕

菱沼
室田
上赤羽根
中赤羽根
下赤羽根
高田
ニュータウン茅ヶ崎
ショクサンビラ
オクトス湘南茅ヶ崎

小和田地区〔６〕

新宿
本宿
赤松町
赤松
菱沼小和田
プランヴェール湘南茅ヶ崎

松浪地区〔１４〕

浜竹一丁目
浜竹二丁目
浜竹三丁目
浜竹四丁目
松浪一丁目
松浪二丁目
富士見町
L G富士見町
常盤町
緑が浜
汐見台
出口町
ひばりが丘
美住町

浜須賀地区〔１２〕

三が丘
菱沼南部
菱沼海岸緑
平和町
松浜
浜須賀
浜須賀住宅
翠松会
菱沼海岸
松涛会
松が丘ハイツ
オーベル茅ヶ崎ラチエン通り

湘北地区〔７〕

甘沼
香川
松風台
鶴が台団地
鶴が台一街区
ライトタウン茅ヶ崎
みずき

小出地区〔１７〕

堤上
堤下
下寺尾
行谷
芹沢西部
芹沢久組
芹沢中部
芹沢東部
二本松
八王子原
芹沢ひかりが丘
芹沢清水台
湘南ライフタウンB地区茅ヶ崎
湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎
湘南ライフタウン羽根沢第一住宅
やよい会
芹沢細谷紺谷村

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

消 防 団



第 5 1 回神奈川県消防操法大会

第 1 6 分団（香川・甘沼地区）

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

消防団のあゆみ

- M 2 8. 3. — 県令（明治 2 7 年 5 月県令第 2 0 号消防組設置）茅ヶ崎村に茅ヶ崎消防組を置き組頭 1 人、小頭 8 人、消防手 1 8 7 人を定員として組織する。
- 4 3. 1. — 茅ヶ崎町本村他 7 部落に消防隊が組織される。
- S 1 4. 4. 1 勅令により「警防団令」が公布施行され、消防組を「警防団」に改める。
- 2 2. 5. — 勅令により「消防団令」が公布施行され、警防団を「消防団」に改める。2 9 分団、定員 1, 2 0 7 人をもって茅ヶ崎町消防団が発足する。
7. 1 中川文次郎 初代消防団長に就任
- 1 0. 1 市制の施行（人口 4 3, 3 1 5 人、戸数 9, 0 5 5 戸）に伴い茅ヶ崎市消防団となる。
- 2 4. 5. 3 1 中川文次郎氏勇退
6. 1 青木耕太郎 2 代消防団長に就任
- 3 0. 1. 1 0 青木耕太郎氏勇退
1. 1 1 小島芳太郎 3 代消防団長に就任
- — 新町分団第 5 回消防ポンプ操法大会に出場（武藤良策分団長）
- 3 1. 3. 1 分団数 3 3（行谷・下寺尾の分離）定数・人員 7 5 7 人
- 3 1. 香川分団第 6 回消防ポンプ操法大会に出場（熊沢音吉分団長）
- 3 2. 下寺尾、下赤分団第 7 回消防ポンプ操法大会に出場（古知谷善太郎・城田良之分団長）
- 3 3. 十間坂、芹沢分団第 8 回消防ポンプ操法大会に出場（石坂圭二・田代忠正分団長）
- 3 4. 下町屋、小和田分団第 9 回消防ポンプ操法大会に出場（内藤 興・程島音次分団長）
- 3 5. 新町、西久保分団第 1 0 回消防ポンプ操法大会に出場（小川一已・岩澤博徳分団長）
- 3 6. 東海岸、甘沼分団第 1 1 回消防ポンプ操法大会に出場（竹村光雄・沼上利夫分団長）
- 3 7. 3. 7 生川伊佐雄氏 黄綬褒章を受章
- 十間坂、高田分団第 1 2 回消防ポンプ操法大会に出場（長島藤吉・中田一三分団長）
- 3 8. 3. 3 1 小島芳太郎氏勇退
4. 1 武藤良策 4 代消防団長に就任
- 今宿分団第 1 3 回消防ポンプ操法大会に出場（森 幸司分団長）
- 3 9. 新町、円蔵分団第 1 4 回消防ポンプ操法大会に出場（野崎金平・高橋庄平分団長）
- 4 0. 室田分団第 1 5 回消防ポンプ操法大会に出場（島崎 寛分団長）

- 4 1. 本村分団第 1 6 回消防ポンプ操法大会に出場（石井基陽分団長）
- 4 2. 十間坂、萩園分団第 1 7 回消防ポンプ操法大会に出場（河内真一・小池範之分団長）
- 4 3. 菱沼分団第 1 8 回消防ポンプ操法大会に出場（高橋正光分団長）
- 4 4. 3. 3 1 武藤良策氏勇退
4. 1 角田年正 5 代消防団長に就任
堤分団第 1 9 回消防ポンプ操法大会に出場（岡本良雄分団長）
- 4 5. 新町、下町分団第 2 0 回消防ポンプ操法大会に出場（真壁利夫・青木賢治分団長）
- 4 6. 茶島分団第 2 1 回消防ポンプ操法大会に出場（岸 市郎分団長）
- 4 7. 堤分団第 2 2 回消防ポンプ操法大会に出場（本間鋭朗分団長）
- 4 8. 4. 1 消防分団の整備統合を計り、3 3 分団とし、字であった分団名を 1 ～ 1 8 分団と改める。
分団数 1 8、団員定数 4 4 9 人、実員 4 2 3 人
第 1 2 分団第 2 3 回消防ポンプ操法大会に出場（堤 嘉彰分団長）
- 4 9. 7. 6 （財）神奈川県消防協会茅ヶ崎支部の発足
第 1 1 分団第 2 4 回消防ポンプ操法大会に出場（山口光男分団長）
- 5 0. 第 1 4 分団第 2 5 回消防ポンプ操法大会に出場（細井克悦分団長）
- 5 1. 4. 1 分団数 2 0、団員定数 3 9 9 人、実員 3 8 3 人
（第 1 7、1 8 分団から第 1 9 分団一行谷、下寺尾分団が独立、第 2 分 団から第 2 0 分団一東海岸・中海岸が独立）
第 1 6 分団第 2 6 回消防ポンプ操法大会に出場（沼上 優分団長）
- 5 2. 第 6 分団第 2 7 回消防ポンプ操法大会に出場（小室康夫分団長）
8. 1 0 小型動力ポンプ付積載車を分団に配置 [日本消防協会より寄贈]
- 5 3. 第 8 分団第 2 8 回消防ポンプ操法大会に出場（内藤徳三郎分団長）
- 5 4. 4. 1 分団数 2 1、団員定数 3 9 9 人、実員 3 8 1 人（第 7 分団から第 2 1 分団矢畑が独立）
第 1 2 分団第 2 9 回消防ポンプ操法大会に出場（青柳一夫分団長）
- 1 2. 1 5 分団車両に無線機を設置開始 初年度 1 0 基
- 5 5. 8. 第 7 分団器具置場建設
1 1. 1 2 互助会の発足
第 1 0 分団第 3 0 回消防操法大会に出場（森 育雄分団長）
- 5 6. 第 2 0 分団第 3 1 回消防ポンプ操法大会に出場（田中晴男分団長）
7. 2 9 小型動力ポンプ付積載車を本団に配置 [日本消防協会より寄贈]
- 5 7. 第 2 1 分団第 3 2 回消防ポンプ操法大会に出場（梅沢初雄分団長）
- 5 8. 9. 第 1 7 分団器具置場建設
第 1 7 分団第 3 3 回消防ポンプ操法大会出場（廣瀬康男分団長）
- 5 9. 4. 2 9 角田年正氏 藍綬褒章を受章
第 3 分団第 3 4 回消防ポンプ操法大会に出場（眞壁育英分団長）
- 6 1. 第 2 分団第 3 5 回消防ポンプ操法大会に出場（野崎重利分団長）

	1 2.	第6分団、第14分団（上赤）器具置場建設
6 3.	2.	第15分団（下赤）器具置場建設
	8.	第1分団第36回消防ポンプ操法大会に出場（戸井田五郎分団長）
H 元.	1.	第5分団（下町）器具置場建設
	2. 3.	第16分団（香川）器具置場建設
	7.	第2分団第37回消防ポンプ操法大会に出場（小川亮一分団長）
	3. 3.	第2分団、第10分団（今宿）器具置場建設
	4. 3.	第12分団、第19分団（下寺尾）器具置場建設
	3. 3 1	角田年正氏勇退
	4. 1	水谷直吉 6代消防団長に就任
	7. 3 0	第3分団第38回消防ポンプ操法大会に出場（石田忠勝分団長）
5.	3.	第3分団（十間坂）・第18分団（芹沢）器具置場建設
6.	3. 1 7	第1分団（本村）・第8分団（浜之郷）器具置場建設
	7. 2 8	第4分団第39回消防操法大会に出場（宮田正分団長）
7.	3. 1 2	第21分団（矢畑）器具置場建設
	3. 2 6	第9分団（萩園）器具置場建設
8.	3. 1 5	第8分団（浜之郷）器具置場建設
	7. 2 5	第5分団第40回消防ポンプ操法大会に出場（中村勝分団長）
9.	3. 1 4	第10分団（中島）、第20分団（東海岸・中海岸）器具置場建設
1 0.	3. 7	消防庁長官表彰旗授与
	3. 1 8	第5分団（仲町）、第11分団（松尾）器具置場建設
	7. 2 9	第6分団第41回消防ポンプ操法大会に出場（南条春雄分団長）
1 1.	3. 1 6	第9分団（新田）・第17分団（堤）器具置場建設
1 2.	3. 1 7	第15分団（高田）器具置場建設
	7. 2 6	第7分団第42回消防ポンプ操法大会に出場（鈴木正之分団長）
1 4.	3. 3 0	第16分団（甘沼）器具置場建設
	7. 2 4	第8分団第43回消防ポンプ操法大会に出場（佐野茂分団長）
1 5.	2. 2 1	第13分団（菱沼）器具置場建設
	9. 3	第19分団（行谷）器具置場建設
1 6.	3. 3 1	水谷直吉氏勇退
	4. 1	小澤嘉平 7代消防団長に就任
	7. 2 8	第9分団 第44回消防ポンプ操法大会に出場（峰尾久徳分団長）
1 8.	7. 2 6	第10分団 第45回消防ポンプ操法大会に出場（森穀彦分団長）
1 9.	2. 1 8	多機能型車両 第9分団（萩園）に配置（日本消防協会より寄贈）
2 0.	4. 1 8	第11分団（柳島）器具置場建設
	7. 3 0	第11分団 第46回消防ポンプ操法大会に出場（内藤智和分団長）
2 2.	3. 1 2	第2分団（新町）器具置場建設
	3. 3 1	小澤嘉平氏勇退
	4. 1	廣瀬康男 8代消防団長に就任
	4. 1 1	女性消防分団（第22分団・20人）発足式定員427人

7. 27 第12分団 第47回消防ポンプ操法大会に出場（内田和弘分団長）
24. 7. 24 第13分団 第48回消防操法大会に出場（高橋一志分団長）
12. 21 非常用消防団車両を配置（小型動力ポンプ付軽積載車）
25. 3. 29 第14分団（中赤）器具置場建設
26. 3. 31 廣瀬康男氏勇退
26. 4. 1 長嶋 裕 9代消防団長に就任
26. 7. 30 第14分団 第49回消防操法大会に出場（赤星倫明分団長）
27. 3. 31 第13分団（室田）器具置場建設（地下ピット内に40トン防火水槽を整備）
28. 2. 24 救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車 第16分団（香川）に配置（総務省消防庁から無償貸与）
28. 3. 17 第7分団（西久保）器具置場建設（地下ピット内に40トン防火水槽を整備）
28. 7. 28 第15分団 第50回消防操法大会に出場（川邊泰之分団長）
30. 7. 25 第16分団 第51回消防操法大会に出場（三橋清高分団長）

歴 代 消 防 団 長

初代消防団長	中川文次郎	昭和22年	7月	1日
2代消防団長	青木耕太郎	昭和24年	6月	1日
3代消防団長	小島芳太郎	昭和30年	1月	11日
4代消防団長	武藤 良策	昭和38年	4月	1日
5代消防団長	角田 年正	昭和44年	4月	1日
6代消防団長	水谷 直吉	平成 4年	4月	1日
7代消防団長	小澤 嘉平	平成16年	4月	1日
8代消防団長	廣瀬 康男	平成22年	4月	1日
9代消防団長	長嶋 裕	平成26年	4月	1日 (現職)

消 防 団 員 叙 位 ・ 叙 勲 者

<u>受章年月日</u>	<u>氏名</u>	<u>勲等別</u>
昭和38年 4月29日	米 山 清 一 氏	勲六等瑞宝章
昭和59年11月 3日	小 川 一 巳 氏	勲七等青色桐葉章
平成 3年11月 3日	大 関 耕 吉 氏	勲六等単光旭日章
平成 4年11月 3日	角 田 年 正 氏	勲五等双光旭日章
(平成8年12月23日 従六位)		
平成 8年11月 3日	本 間 鋭 朗 氏	勲六等単光旭日章
平成10年 6月 6日	吉 野 博 氏	勲六等単光旭日章
平成16年 7月16日	河 内 真 一 氏	瑞宝単光章
平成17年 4月29日	水 谷 直 吉 氏	瑞宝双光章
(平成25年2月5日 従六位)		
平成20年11月 3日	森 育 雄 氏	瑞宝単光章
平成23年11月 3日	小 澤 嘉 平 氏	瑞宝双光章
平成26年 7月 4日	眞 壁 利 夫 氏	瑞宝単光章
(平成26年7月4日)		
平成27年 4月29日	廣 瀬 康 男 氏	瑞宝双光章
平成29年 5月15日	大 川 静 雄 氏	瑞宝単光章

消防団の概要

団員数とポンプ・車両数

平成31年4月1日現在

区分		合計	団長	副団長	分団長 (本部付)	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消防ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ	専用積載車
合	計	405	1	4	3	22	22	35	70	248	5	30	28
団	本 部	8	1	4	3							2	2
第 1 分 団	本 村	15				1	1	1	2	10		1	1
第 2 分 団	新 町	15				1	1	1	2	10	1		
第 3 分 団	十 間 坂	14				1	1	1	2	9	1		
第 4 分 団	上 町	19				1	1	2	4	11		2	1
	茶 屋 町												
	鳥 井 戸												
第 5 分 団	仲 町	21				1	1	2	4	13		2	2
	下 町												
第 6 分 団	円 藏	15				1	1	1	2	10		1	1
第 7 分 団	西 久 保	15				1	1	1	2	10		1	1
第 8 分 団	下 町 屋	18				1	1	2	4	10		2	2
	浜 之 郷												
第 9 分 団	萩 園	20				1	1	2	4	12		2	2
	新 田												
第 10 分 団	中 島	21				1	1	2	4	13		2	2
	今 宿												
第 11 分 団	柳 島	23				1	1	2	4	15		2	2
	松 尾												
第 12 分 団	小 和 田	20				1	1	2	4	12	1		
第 13 分 団	菱 沼	20				1	1	2	4	12		2	2
	室 田												
第 14 分 団	上 赤	17				1	1	2	4	9		2	2
	中 赤												
第 15 分 団	下 赤	25				1	1	2	4	17		2	2
	高 田												
第 16 分 団	甘 沼	23				1	1	2	4	15		2	2
	香 川												
第 17 分 団	堤	14				1	1	1	2	9	1		
第 18 分 団	芹 沢	15				1	1	1	2	10	1		
第 19 分 団	下 寺 尾	20				1	1	2	4	12		2	2
	行 谷												
第 20 分 団	東 海 岸	20				1	1	2	4	12		1	1
	中 海 岸												
第 21 分 団	矢 畑	15				1	1	1	2	10		1	1
第 22 分 団	全 地 区	12				1	1	1	2	7		1	

車両別内訳（非常備）

平成31年4月1日現在

配置		種別	シャシ メーカー	車両総重量	購入年度	登録番号	定員	備考
分団名	地区名							
第2分団	新町	消防ポンプ自動車	三菱	4,370	H15	湘南800ち2	6	
第3分団	十間坂		三菱	4,350	H13	湘南800さ7611	6	
第12分団	小和田		三菱	4,830	H20	湘南800す5273	6	
第17分団	堤		いすゞ	4,930	H26	湘南830つ17	6	
第18分団	芹沢		三菱	4,850	H20	湘南830て18	6	
第5分団	仲町	小型動力ポンプ付 軽積載車	ダイハツ	1,430	H25	湘南880あ997	4	
第9分団	新田		ダイハツ	1,320	H6	湘南80あ7	4	
第14分団	中赤		ダイハツ	1,430	H25	湘南880あ998	4	
第19分団	行谷		スバル	1,280	H7	湘南80あ51	4	
第1分団	本村	小型動力ポンプ付 積載車	ニッサン	2,820	H27	湘南803つ1	6	
第4分団	上町		ニッサン	2,560	H6	湘南88さ619	8	
第5分団	下町		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ97	8	
第6分団	円蔵		ニッサン	2,540	H7	湘南88さ1265	8	
第7分団	西久保		ニッサン	2,540	H7	湘南88さ1266	8	
第8分団	浜之郷		ニッサン	2,820	H26	湘南801そ8	6	
	下町屋		ニッサン	2,780	H19	湘南800す4446	8	
第9分団	萩園		いすゞ	3,810	H19	湘南800す4536	6	平成19年度日本消防協会より寄贈
第10分団	中島		ニッサン	2,640	H17	湘南800す2639	8	
	今宿		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ98	8	
第11分団	柳島		ニッサン	2,550	H15	湘南800す619	6	
	松尾		ニッサン	2,760	H19	湘南800す4445	8	
第13分団	室田		ニッサン	2,820	H26	湘南830ね13	6	
	菱沼		ニッサン	2,860	H20	湘南800す5123	8	
第14分団	上赤		ニッサン	2,830	H25	湘南830と14	6	
第15分団	下赤		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ99	8	
	高田		ニッサン	2,640	H17	湘南800す2640	8	
第16分団	香川		いすゞ	4,170	H27	湘南800す9751	6	平成27年度総務省消防庁より無償貸与
	甘沼		ニッサン	2,640	H17	湘南800す2641	8	
第19分団	下寺尾		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ101	8	
第20分団	東海岸・中海岸		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ102	8	
第21分団	矢畑		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ103	8	
非常用	団本部	小型動力ポンプ付 軽積載車	ダイハツ	1,450	H24	湘南883い119	4	
非常用	団本部	小型動力ポンプ付 積載車	ニッサン	2,570	H6	湘南88さ100	8	

分団器具置場所在

平成31年4月1日現在

分団名	地区名	所在	目標物
第1分団	本村	本村2-6-6	本村地下道
第2分団	新町	新栄町3-8	茅ヶ崎保育園南側
第3分団	十間坂	十間坂3-17-19	第六天神社
第4分団	上町	南湖3-4-40	上町自治会館
	茶屋町・鳥井戸	南湖1-9-2	茶屋町郵便局東側
第5分団	仲町	南湖4-1-18	八雲神社西側
	下町	南湖5-5-1	住吉神社北側
第6分団	円蔵	円蔵2282	円蔵自治会館
第7分団	西久保	西久保553-3	宝生寺東側
第8分団	下町屋	下町屋2-10-48	下町屋自治会館北東側
	浜之郷	浜之郷443	鶴嶺八幡宮南側
第9分団	萩園	萩園1717	萩園自治会館
	新田	平太夫新田79	八幡神社
第10分団	中島	中島1134	中島自治会館
	今宿	今宿588-1	今宿自治会館南側
第11分団	柳島	柳島1-8-9	善福寺南側
	松尾	松尾3-28	松尾自治会館
第12分団	小和田	代官町4-11	小和田信号東側
第13分団	菱沼	菱沼2-2-10	松林小学校南側
	室田	松林3-5-5	妙行寺
第14分団	上赤羽根	赤羽根2220	宝積寺南側
	中赤羽根	赤羽根4441	松林ケアセンター北側
第15分団	下赤羽根	赤羽根338-1	茅ヶ崎市消防署松林出張所
	高田	高田1-9-38	すみれ幼稚園北側
第16分団	甘沼	甘沼582-5	甘沼自治会館西側
	香川	香川3-29-4	香川駅南東側
第17分団	堤	堤2381-1	堤坂下信号北東側
第18分団	芹沢	芹沢1068	里山公園入口信号北側
第19分団	下寺尾	下寺尾1213	みずき信号西側
	行谷	行谷433	宝蔵寺南側
第20分団	東海岸・中海岸	東海岸南2-3-41	東海岸会館前信号南側
第21分団	矢畑	矢畑580-9	矢畑肥地力信号南西側
第22分団	全地区	矢畑1280-3	茅ヶ崎市消防署

分布図は21ページにあります。

災害出動

平成30年中

区分 月別	合計			火災出動			風水害出動		
	件数	分団数	人員	件数	分団数	人員	件数	分団数	人員
合計	45	100	646	45	100	646	0	0	0
1 月	3	6	40	3	6	40			
2 月	6	11	67	6	11	67			
3 月	1	2	12	1	2	12			
4 月	1	2	16	1	2	16			
5 月	5	9	50	5	9	50			
6 月	2	3	9	2	3	9			
7 月	4	8	49	4	8	49			
8 月	3	9	54	3	9	54			
9 月	5	9	42	5	9	42			
1 0 月	6	26	203	6	26	203			
1 1 月	3	5	25	3	5	25			
1 2 月	6	10	79	6	10	79			

勤続年数

平成31年4月1日現在

勤続年数 階級別	合計	団長	副団長	分団長 (本部付)	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計	405	1	4	3	22	22	35	70	248
5年未満	104				1	1	3	10	89
5年以上～10年未満	77				3	5	12	25	32
10年以上～15年未満	54				8	4	8	18	16
15年以上～20年未満	81		1	1	6	8	8	11	46
20年以上～25年未満	45				2	3	3	5	32
25年以上～30年未満	30		1	1	2			1	25
30年以上～35年未満	10		1	1		1			7
35年以上	4	1	1				1		1

報酬額

平成31年4月1日現在

階級	団長	副団長	分団長 (本部付)	分団長	副分団長	部長	班長	団員	運転手
手当 (年額)	72,000	59,000	44,000	42,000	38,500	36,000	33,500	32,000	4,300

費用弁償額

平成31年4月1日現在

区 分	支給単位		費用弁償額
	回数	時間	
火災、水害、訓練、警戒等の出場	1回	3時間未満	2,000
		3時間以上	3,600

研修・訓練

平成30年度中

回数・人員	科目	合計	新入団員研修	正副分団長研修	無線取扱研修	機関担当員研修	資機材等取扱訓練	操法訓練	火災想定訓練	訓練礼式	地区防災訓練	その他
回数		69	1	1	1	1	1	40	1	1	10	12
人員		1,862	33	52	102	101	127	712	243	266	167	59

※ホース格納箱取扱訓練については、訓練・研修に含んでいません。

退団者

平成30年度中

勤続年数	階級	合計	団長	副団長	分団長 (本部付)	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合 計		28	0	0	0	1	0	3	3	21
5 年 未 満		7						1		6
5 年 以 上 10 年 未 満		4							2	2
10 年 以 上 15 年 未 満		5				1				4
15 年 以 上 20 年 未 満		6						1	1	4
20 年 以 上 25 年 未 満		4						1		3
25 年 以 上 30 年 未 満		1								1
30 年 以 上		1								1

年齢

平成31年4月1日現在

年齢	階級別	合計	団長	副団長	分団長 (本部付)	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計		405	1	4	3	21	23	32	67	254
20才未満		1								1
20才以上～25才未満		5								5
25才以上～30才未満		14							1	13
30才以上～35才未満		25						3	6	16
35才以上～40才未満		71				1	5	6	17	42
40才以上～45才未満		77				6	5	4	10	52
45才以上～50才未満		84				2	9	10	17	46
50才以上～55才未満		66		1	1	10	1	5	7	41
55才以上～60才未満		35				1	2	2	6	24
60才以上		27	1	3	2	1	1	2	3	14
平均年齢		45.0	64.0	65.0	58.7	47.0	44.0	44.7	44.5	44.5

職業

平成31年4月1日現在

職業	階級別	合計	団長	副団長	分団長 (本部付)	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計		405	1	4	3	22	22	35	70	248
卸売・小売業		52	1	1	2	4	4	6	8	26
製造業		61				2	2	6	13	38
建設業		73		1		5	2	6	15	44
農・漁業		31		1			2	3	6	19
サービス業		99				8	7	8	14	62
公務員		15						1	4	10
日本郵政グループ		4							2	2
金融・保険業		7					1	1		5
運輸・通信業		22				2	2	2	3	13
電気・ガス・水道業		21			1		2	1	2	15
不動産業		7							2	5
その他		13		1		1		1	1	9

団の定数・実員

年度	定数	実員	組織	各年4月1日現在		備考
				人口	世帯数	
昭和24年	1,207	1,182	1団29分団	45,783	9,554	初代団長 中川文次郎 自 昭和20年1月11日から 至 昭和24年5月31日まで
25年	1,207	1,141	〃	47,815	9,901	
26年	1,207	1,141	〃	48,909	10,191	
27年	863	863	〃	49,612	10,634	2代団長 青木耕太郎 自 昭和24年6月1日から 至 昭和30年1月10日まで
28年	863	824	〃	50,674	10,765	
29年	863	824	〃	52,482	11,267	
30年	839	839	1団32分団	56,895	11,849	3代団長 小島芳太郎 自 昭和30年1月11日から 至 昭和38年3月31日まで
31年	757	757	1団33分団	59,034	12,438	
32年	757	757	〃	62,000	13,433	
33年	757	694	〃	62,992	13,767	4代団長 武藤良策 自 昭和38年4月1日から 至 昭和44年3月31日まで
34年	685	667	〃	65,149	14,441	
35年	669	589	〃	70,090	15,871	
36年	589	589	〃	71,592	16,594	5代団長 角田年正 自 昭和44年4月1日から 至 平成4年3月31日まで
37年	589	515	〃	74,801	17,773	
38年	518	497	〃	78,420	19,436	
39年	518	501	〃	90,130	23,616	6代団長 水谷直吉 自 平成4年4月1日から 至 平成16年3月31日まで
40年	518	496	〃	100,078	25,525	
41年	518	502	〃	105,211	27,007	
42年	518	504	〃	111,462	28,671	7代団長 小澤嘉平 自 平成16年4月1日から 至 平成22年3月31日まで
43年	518	511	〃	121,946	32,374	
44年	518	506	〃	126,160	34,051	
45年	518	499	〃	130,570	35,820	8代団長 廣瀬 康男 自 平成22年4月1日から 至 平成26年3月31日まで
46年	518	498	〃	135,686	37,775	
47年	518	501	〃	140,063	39,459	
48年	449	423	1団18分団	144,552	41,152	9代団長 長嶋 裕 自 平成26年4月1日から
49年	449	404	〃	148,922	42,751	
50年	399	384	〃	152,024	43,536	
51年	399	383	1団20分団	157,175	45,129	
52年	399	379	〃	162,762	46,900	
53年	399	382	〃	166,141	48,075	
54年	399	381	1団21分団	169,746	49,351	
55年	407	382	〃	172,381	52,357	
56年	407	384	〃	175,727	53,677	
57年	407	384	〃	175,730	53,690	
58年	407	386	〃	178,901	55,021	
59年	407	386	〃	180,974	55,972	
60年	407	388	〃	183,140	57,071	
61年	407	388	〃	186,137	57,937	
62年	407	384	〃	190,264	59,864	
63年	407	387	〃	194,332	62,018	
平成元年	407	385	〃	197,016	63,851	
2年	407	385	〃	200,511	65,880	
3年	407	385	〃	202,133	67,295	
4年	407	386	〃	204,846	69,167	
5年	407	384	〃	207,779	70,972	
6年	407	386	〃	210,282	72,670	
7年	407	395	〃	212,821	74,322	
8年	407	398	〃	212,662	74,338	
9年	407	400	〃	214,727	76,018	
10年	407	402	〃	216,484	77,603	
11年	407	402	〃	217,953	79,068	
12年	407	405	〃	219,828	80,736	
13年	407	403	〃	221,741	81,615	
14年	407	400	〃	222,945	83,056	
15年	407	401	〃	224,847	84,725	
16年	407	402	〃	226,858	86,532	
17年	407	402	〃	228,014	87,785	
18年	407	405	〃	228,332	88,548	
19年	407	403	〃	229,382	89,867	
20年	407	400	〃	231,031	91,258	
21年	407	399	〃	233,240	92,874	
22年	427	417	1団22分団	234,412	93,933	
23年	427	420	〃	235,360	93,861	
24年	427	412	〃	235,903	94,836	
25年	427	405	〃	236,420	95,737	
26年	427	403	〃	237,269	96,867	
27年	427	410	〃	238,213	98,096	
28年	427	402	〃	239,552	98,436	
29年	427	406	〃	239,891	99,583	
30年	427	410	〃	241,532	101,149	
31年	427	405	〃	242,023	102,111	

※人口及び世帯数は、神奈川人口統計調査の公表資料によるデータ

防災資機材

大規模災害時等に対応するため、救助、救護資機材（発電照明器具、手工具等）を、消防分団器具置場３２か所に配備しています。

配備防災資機材一覧

1	発電機付照明装置	26	ライフジャケット
2	破壊器具	27	ガソリン携行缶
3	折りたたみリヤカー	28	デジタルトランシーバー
4	ジャッキ	29	拡声器
5	可搬式ウインチ	30	防災ラジオ(31か所)
6	チェンブロック	31	防火手袋(全団員)
7	かけや	32	耐切創性手袋(全団員)
8	つるはし	33	防塵マスク(全団員)
9	のこぎり	34	防塵メガネ(全団員)
10	ハンマー	35	救命胴衣(全団員)
11	剣先スコップ	36	救命浮環(31か所)
12	鉄線鋏	37	エンジンカッター(31か所)
13	バール	38	チェーンソー(31か所)
14	金てこ	39	救命ボート(31か所)
15	防水シート	40	AED(31か所)
16	ワイヤー	41	救急処置セット(31か所)
17	鉄のこぎり	42	署活動用無線機
18	万能はさみ		
19	ハンドマイク		
20	毛布		
21	カラビナ		
22	救助ロープ		
23	災害活動用厨房セット		
24	担架		
25	簡易トイレ		

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

火 災 統 計



建物火災

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

火 災

平成30年中の火災件数は、41件で前年に比べ6件減少しました。減少した内訳として、車両火災が1件、その他の火災が5件減少しました。

火災種別は、建物火災が30件で全体の73.2%、次いでその他の火災が10件で全体の24.4%、車両火災が1件で全体の2%の順となっており、全国の火災種別における構成割合と比較すると建物火災は高い割合となっています。

出火原因別では、放火・放火の疑いが6件で全体の14.6%、次いでこんろが5件で全体の12.2%と高い割合を占めています。前年に比べ6件減少しましたが、放火・放火の疑いは過去5年において最も高い出火原因となっています。

全国の出火原因についても放火・放火の疑いとこんろは高い割合となっています。

火災による死傷者は、死者が3人、負傷者が12人発生しています。死者は建物火災で発生しており65歳以上となっています。

全国の建物火災における65歳以上の死者の割合は70%で同様に高い割合となっています。

用語の意義

1 火災件数

「1件の火災」とは、一つの出火点から拡大したもので、出火に始まり鎮火するまでをいう。

2 火災の種別

火災は、次の種別に区分する。この場合において、火災の種別が2以上複合するときは、焼き損害額の大なるものの種別による。ただし、その態様により焼き損害額の大なるものの種別によることが社会通念上適当でないと認められるときはこの限りでない。

(1) 建物火災 建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

(2) 林野火災 森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

(3) 車両火災 自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

(4) 船舶火災 船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

(5) 航空機火災 航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

(6) その他の火災 (1)～(5)までに掲げる火災以外の火災(空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災)をいう。

3 爆 発

人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

4 焼損の程度区分

(1) 全 焼 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

(2) 半 焼 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント以上のもので全焼に該当しないものをいう。

(3) 部分焼 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント未満のものでぼやに該当しないものをいう。

(4) ぼ や 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の

１０パーセント未満であり焼損表面積が１平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

５ 火災による死者及び負傷者

「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者（病死者を除く。）又は負傷した者をいう。この場合消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げる時までの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者又は負傷者とする。

６ 損害額

火災損害とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、り災のための休業による損失等の間接的な損害を除く。

火災損害は、焼き損害、消火損害又は爆発損害に区分する。

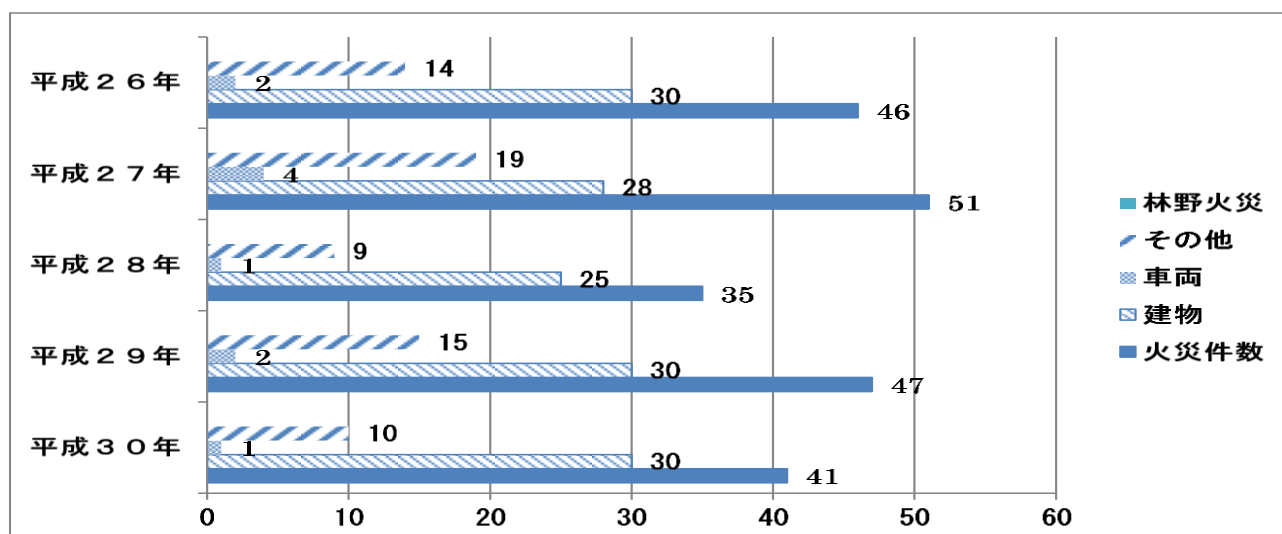
（１）「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいう。

（２）「消火損害」とは、消火活動によって受けた水損、破損、汚損等の損害をいう。

（３）「爆発損害」とは、爆発現象の破壊作用によって受けた前記（１）（２）以外の損害をいう。

1 火災件数 種別		過去 5 年間			
年別	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
平成26年	46	30	0	2	14
平成27年	51	28	0	4	19
平成28年	35	25	0	1	9
平成29年	47	30	0	2	15
平成30年	41	30	0	1	10
29年との 増減	△ 6	0	0	△ 1	△ 5

１ 火災件数



2 火災損害額

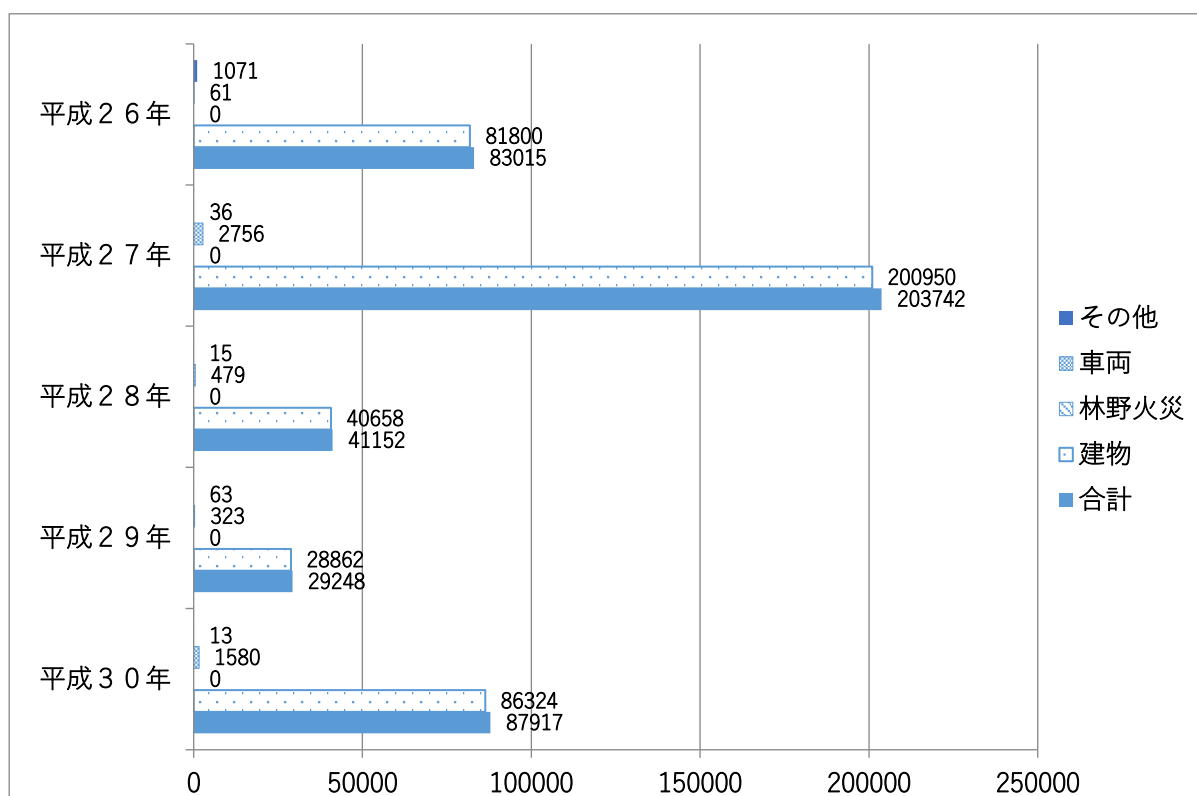
過去5年間

種別 年別	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
平成26年	83,015	81,800	0	61	1,071
平成27年	203,742	200,950	0	2,756	36
平成28年	41,152	40,658	0	479	15
平成29年	29,248	28,862	0	323	63
平成30年	87,917	86,324	0	1,580	13
29年との増減	58,669	57,462	0	1,257	△ 50

※今後の調査状況により、火災損害額が変更となる場合があります。

(単位：千円)

2 火災損害額

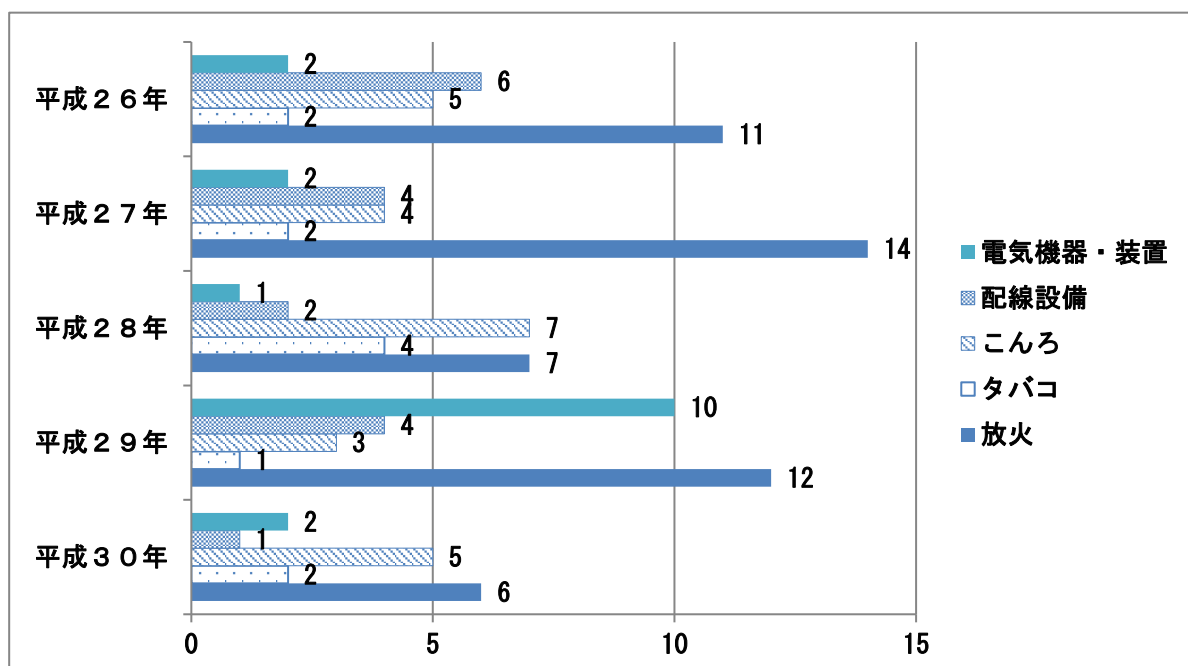


3 出火原因別件数

過去5年間

出火原因 年別	1 位	2 位	3 位
平成26年	放火・放火の疑い 11	配線器具 6	こんろ 5
平成27年	放火・放火の疑い 14	配線器具 4	こんろ 4
平成28年	放火・放火の疑い 7	こんろ 7	たばこ 4
平成29年	放火・放火の疑い 12	電気機器・装置 10	配線器具 4
平成30年	放火・放火の疑い 6	こんろ 5	たばこ 2

3 火災原因別件数



4 死傷者数

過去5年間

死傷者 年別	死者	負傷者
平成26年	3	15
平成27年	2	7
平成28年	2	6
平成29年	1	8
平成30年	3	12
29年との増減	2	4

管区別火災発生状況

平成30年中

	合計	本署管内	小和田管内	小出管内	鶴嶺管内	松林管内	海岸管内
火災件数	41	15	7	3	5	4	7
比率 (%)	100	36.6	17.1	7.3	12.2	9.8	17.1

本署管内 15 件 (比率: 36.6%)

町名	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
合計	15	14			1
茅ヶ崎					
茅ヶ崎一丁目					
茅ヶ崎二丁目	1				1
茅ヶ崎三丁目	2	2			
元町	2	2			
本村一丁目	1	1			
本村二丁目					
本村三丁目					
本村四丁目					
本村五丁目					
十間坂一丁目					
十間坂二丁目					
十間坂三丁目					
新栄町	1	1			
南湖一丁目	1	1			
矢畑	2	2			
円蔵					
円蔵一丁目					
円蔵二丁目					
西久保					
浜之郷	1	1			
下町屋一丁目					
下町屋二丁目					
下町屋三丁目					
香川					
香川一丁目					
香川二丁目					
香川三丁目	1	1			
香川四丁目	2	2			
香川五丁目					
香川六丁目					
香川七丁目					
高田五丁目					
室田三丁目	1	1			
みずき四丁目					

小和田管内 7 件 (比率: 17.1%)

町名	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
合計	7	6			1
若松町					
東海岸北四丁目					
東海岸北五丁目					
東海岸南五丁目					
東海岸南六丁目					
ひばりが丘					
旭が丘					
松が丘一丁目					
松が丘二丁目	1	1			
白浜町					
平和町					
浜須賀	1	1			
浜竹一丁目					
浜竹二丁目					
浜竹三丁目	1	1			
浜竹四丁目	1	1			
松浪一丁目					
松浪二丁目	1				1
富士見町					
常盤町					
緑が浜					
汐見台					
菱沼海岸					
出口町	1	1			
美住町	1	1			

小出管内 3 件 (比率: 7.3%)

町名	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
合計	3	2			1
下寺尾					
堤	2	1			1
行谷					
芹沢	1	1			
みずき一丁目					
みずき二丁目					
みずき三丁目					

鶴嶺管内 5 件 (比率: 12.2%)

町名	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
合計	5	2		1	2
萩園	4	2			2
平太夫新田					
今宿	1			1	
中島					

松林管内 4 件 (比率: 9.8%)

町名	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
合計	4	3			1
赤羽根	1	1			
甘沼	1	1			
高田一丁目					
高田二丁目					
高田三丁目					
高田四丁目					
鶴が台	1				1
松風台					
菱沼一丁目					
菱沼二丁目					
菱沼三丁目					
松林一丁目					
松林二丁目					
松林三丁目					
室田一丁目					
室田二丁目	1	1			
小和田一丁目					
小和田二丁目					
小和田三丁目					
小桜町					
代官町					
本宿町					
赤松町					
円蔵					

海岸管内 7 件 (比率: 17.1%)

町名	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
合計	7	3			4
幸町					
東海岸北一丁目					
東海岸北二丁目					
東海岸北三丁目					
東海岸南一丁目					
東海岸南二丁目					
東海岸南三丁目					
東海岸南四丁目	3	2			1
共恵一丁目					
共恵二丁目					
中海岸一丁目					
中海岸二丁目	1	1			
中海岸三丁目					
中海岸四丁目					
南湖二丁目	1				1
南湖三丁目					
南湖四丁目					
南湖五丁目					
南湖六丁目					
南湖七丁目					
松尾					
浜見平					
柳島	2				2
柳島一丁目					
柳島二丁目					
柳島海岸					

火災件数月別内訳

平成30年中

火災種別 月別	件数	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	死者	負傷者
合計	41	30	0	1	10	3	12
1月	4	4					1
2月	4	1		1	2		
3月	2	2					2
4月	1	1					2
5月	6	4			2		1
6月	1				1		
7月	4	2			2		1
8月	5	5					3
9月	2	2					
10月	6	4			2	3	2
11月	2	2					
12月	4	3			1		

初期消火器具使用状況

平成30年中

	合計		建物火災		林野火災		車両火災		その他の火災	
		有効		有効		有効		有効		有効
出火件数	41	15	30	13			1		10	2
消火器	5	4	5	4						
水道水等をかけた	12	8	9	6					3	2
寝具衣類等をかけた	1	1	1	1						
その他	4	2	3	2					1	
初期消火無	19		12				1		6	

火災統計概要（最近 10 年間）

年度		合計	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	
区分													
火災 件数	合計	510	58	47	71	49	65	46	51	35	47	41	
	建物火災	299	30	21	40	25	40	30	28	25	30	30	
	林野火災	6		1	3	1	1						
	車両火災	39	10	4	8	3	4	2	4	1	2	1	
	船舶火災												
	その他の火災	166	18	21	20	20	20	14	19	9	15	10	
爆発災害件数		6					4	2					
焼 損 棟 数	合計	390	54	25	44	28	54	38	35	30	33	49	
	火 元 棟	全焼	45	8	4	6	2	4	6	3	3	2	7
		半焼	14	1	2	1	2	1	1	2	2	1	1
		部分焼	52	7	7	10	1	9	6	3	3	3	3
		ぼや	180	13	8	23	20	20	16	20	17	24	19
	延 焼 棟	全焼	6	3				1		2			
		半焼	3			1							2
		部分焼	58	16	2			12	7	3	2	3	13
		ぼや	32	6	2	3	3	7	2	2	3		4
	り 災	世帯数	315	53	21	30	25	46	39	28	16	17	40
人員		776	146	52	70	65	113	81	71	41	43	94	
焼 損 面 積 ㎡	建物火災	6,432	1345	638	597	446	716	452	1052	331	167	688	
	林野火災	777		60	386	0.86	330						
	雑草火災	4,159	1212	66	2881								
死者		20	2	1	3		3	3	2	2	1	3	
負傷者		112	13	9	8	8	26	15	7	6	8	12	
損害額（百万円）		969	197	82	50	66	130	83	203	41	29	88	

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

救急救助統計



交通救助

MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

救急活動

平成30年中の救急出動件数は、11,233件で前年に比べ365件の増、搬送人員は10,590人で前年に比べ285人の増となり、1日当たりの出動件数は約31件で、約47分に1回の割合で救急車が出動したことになります。

搬送人員を事故種別ごとに見てみると、急病が7,325人で全体の69.2%になり、次いで一般負傷が1,637人で全体の15.5%、交通事故が783人で全体の7.4%の順となっています。

傷病程度別搬送人員では中等症が4,913人で全体の46.4%となり、年齢別搬送人員では、高齢者（65歳以上）が6,483人で全体の61.2%となっています。全体として高齢者の救急搬送が近年増加の傾向にあります。

用語の意義

火災	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
自然災害	暴風雨、豪雨等の自然現象による災害の事故をいう。
水難事故	水泳中の溺者、又は水中転落者等の事故をいう。
交通事故	交通機関相互の衝突等の事故をいう。
労働災害	工場等において、就業中に発生した事故をいう。
運動競技	運動競技を実施している人が、競技実施中に発生した事故をいう。
一般負傷	他に分類されない不慮の事故をいう。
加害	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自損行為	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急病	疾病によるもので救急業務として取り扱ったもの。
その他	転院搬送、医師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの。（正常分娩、酩酊等）

過去5年間の救急出動状況

区分 年別	出動件数	出動件数 1日平均	搬送人員 A	搬送人員 1日平均	不搬送	市内搬送 人	市外搬送 人 B	市外搬送 率 (%) B/A
平成26年	10,243	28	9,648	26	641	5,668	3,980	41.3%
平成27年	10,330	28	9,711	27	689	6,114	3,597	37.0%
平成28年	10,692	29	10,076	27	675	6,178	3,898	38.7%
平成29年	10,868	30	10,305	28	602	6,034	4,271	41.5%
平成30年	11,233	31	10,590	29	702	6,154	4,436	41.9%

過去5年間の年齢別搬送人員状況

年別	年齢	搬送人員	新生児 生後28日以内	乳幼児 29日～6才	少年 7才～17才	成人 18才～64才	高齢者 65才以上
平成26年		9,648	24	510	423	2,977	5,714
平成27年		9,711	33	459	392	3,029	5,798
平成28年		10,076	31	523	360	3,118	6,044
平成29年		10,305	33	543	407	3,100	6,222
平成30年		10,590	36	553	437	3,081	6,483

事故種別・傷病程度別搬送人員

平成30年中

種別 程度	事故種別											
	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
合計	10,590	13	1	5	783	79	79	1,637	42	62	7,325	564
死亡	141	0	0	0	1	0	0	5	0	16	119	0
重症	689	0	0	3	12	3	0	51	2	3	499	116
中等症	4,913	5	0	1	272	29	28	644	12	27	3,512	383
軽症	4,845	8	1	1	498	46	51	937	28	16	3,194	65
その他	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0

事故種別・発生場所別搬送人員

平成30年中

事故種別	発生場所					
	合計	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他
合計	10,590	6,776	2,226	179	1,307	102
急病	7,325	5,756	1,168	113	256	32
交通	783	9	16	0	756	2
一般負傷	1,637	914	387	5	274	57
その他	845	97	655	61	21	11

月別出動状況

平成30年中

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出動件数	11,233	1,139	861	921	832	926	826	1,048	1,013	873	916	846	1,032
搬送人員	10,590	1,082	799	865	793	888	780	986	957	820	854	805	961

曜日別救急出動件数 平成30年中

区分	曜日別件数
合計	11,233
曜日別	月 1,755
	火 1,605
	水 1,596
	木 1,530
	金 1,596
	土 1,577
	日 1,574

救急隊員の行った応急処置件数

平成30年中

応急処置	応急処置件数
合計	32,042
止血	378
固定	608
人工呼吸	47
心マッサージ	0
心肺蘇生	205
酸素吸入	1,700
気道確保	425
保温	97
被覆	775
在宅療養継続	258
ショックパンツ	0
除細動	18
静脈路確保	214
薬剤投与	136
その他の応急処置	34
血圧測定	10,243
聴診器の使用	2,920
血中酸素飽和度測定	10,392
心電図	5,013
血糖測定	24
エピペン投与	1
ブドウ糖投与	14

市内・市外病（医）院搬送人員

平成30年中

病（医）院	事故種別	合計	収容率	救急事故種別											
				火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
														転院	その他
合計		10,590	100.0%	13	1	5	783	79	79	1,637	42	62	7,325	557	7
茅ヶ崎市立病院		3,906	36.9%	2	1	1	262	24	37	584	20	7	2,799	165	4
湘南東部総合病院		1,272	12.0%	1			149	11	5	209	2	12	858	25	
茅ヶ崎徳洲会病院		945	8.9%				87	4	4	161	2	3	675	9	
茅ヶ崎中央病院		6	0.1%										4	2	
市内その他の病院		25	0.2%				1	1		2			17	4	
湘南藤沢徳洲会病院		3,707	35.0%	5		1	239	29	26	625	15	30	2,560	176	1
市外その他の病院		729	6.9%	5		3	45	10	7	56	3	10	412	176	2

事故種別不搬送理由

平成30年中

事故種別 \ 不搬送理由	合計	緊急 性 なし	傷病 者 なし	搬送 拒否	酩酊	到着 時死 亡	現場 処置	誤報・ いた ずら	その 他
合計	702	66	66	118	57	124	186	40	45
火災	36	2	20	1	0	1	3	5	4
自然災害	1	1	0	0	0	0	0	0	0
水難	24	0	10	1	0	2	2	7	2
交通	64	9	3	18	4	2	22	1	5
労働災害	3	0	0	1	0	0	1	0	1
運動競技	3	0	1	2	0	0	0	0	0
一般負傷	80	18	1	20	4	0	31	0	6
加害	13	2	1	4	1	0	4	1	0
自損行為	23	1	1	4	0	9	5	1	2
急病	429	29	25	66	48	108	117	15	21
その他	26	4	4	1	0	2	1	10	4

出場件数 11, 233件 不搬送件数702件 不搬送率 $702 / 11,233 \times 100 = 6.25\%$

救急支援出動状況（消防隊が救急隊を支援するための出動）

平成30年中

出動種別	救急活動支援	ドクターヘリ支援	合 計
出動件数	1698 (31)	0	1698

() 内は消防隊がAEDを使用した件数

救助出動状況

平成30年中

区分 \ 事故種別	合計	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る 事 故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	その他の 事 故
出動件数	21	5	5	0	0	6	0	5
救出人員	16	4	5	0	0	6	0	1

救命講習会実施状況

	回数	受講者数	累計人数
平成6年度～平成25年度	1,594	50,824	50,824
平成26年度	191	5,993	56,817
平成27年度	200	6,591	63,408
平成28年度	211	7,053	70,461
平成29年度	213	6,961	77,422
平成30年度	212	6,743	84,165
合計	2,621	84,165	

※講習会には、普通救命講習、応急手当講習、救命ジュニアコース、救命入門コース、上級救命講習及び普及員養成講習があります。

平成30年度救命講習会開催状況

	回数	受講者数
普通救命講習（3時間）	106	1,719
応急手当講習（90分）	41	699
救命ジュニアコース（90分）	26	2,034
救命入門コース（90分）	33	2,203
上級救命講習（8時間）	4	77
普及員養成講習（24時間）	2	11
合計	212	6,743

※救命ジュニアコースは中学生が対象で、救命入門コースは小学生が対象です。

AED（自動体外式除細動器）設置状況

	市公共施設
平成30年度	124施設（3）

※（ ）内は平成16年から平成30年の間でAEDを実際作動させた回数です。

《公共施設》

AED設置施設一覧

(地区別)

平成31年4月現在

全124施設

	茅ヶ崎・海岸地区	所在地
1	茅ヶ崎市役所本庁舎1・4・6階	茅ヶ崎1-1-1
2	茅ヶ崎市役所分庁舎 6階	茅ヶ崎1-1-1
3	梅田第2児童クラブ	茅ヶ崎1-5-32
4	梅田児童クラブ	茅ヶ崎1-5-46
5	市立梅田小学校	茅ヶ崎1-6-1
6	茅ヶ崎保健福祉事務所	茅ヶ崎1-8-7
7	茅ヶ崎市総合体育館	茅ヶ崎1-9-63
8	茅ヶ崎市民文化会館	茅ヶ崎1-11-1
9	茅ヶ崎市民活動サポートセンター	茅ヶ崎3-2-7
10	円蔵児童クラブ	茅ヶ崎551-9
11	茅ヶ崎市立病院エントランス・3・6階	本村5-15-1
12	茅ヶ崎駅前市民窓口センター	元町1-1
13	茅ヶ崎地区コミュニティセンター	元町10-33
14	男女共同参画推進センターいこりあ	新栄町12-12
15	勤労市民会館	新栄町13-32
16	老人福祉センター	新栄町13-44
17	新栄町第二自転車駐車場	新栄町13-45
18	幸町自転車駐車場	幸町21-7
19	生きがい会館・シルバー人材センター	十間坂1-4-8
20	青少年会館	十間坂3-5-37
21	茅ヶ崎市体育館	十間坂3-6-5
22	市立梅田中学校	十間坂3-6-25
23	市立茅ヶ崎小学校	共恵1-10-23
24	茅ヶ崎児童クラブ	共恵1-10-70
25	南湖会館	南湖4-6-1
26	市立西浜小学校	南湖6-5-8
27	南湖公民館	南湖6-15-1
28	市立西浜中学校	南湖6-15-3
29	西浜児童クラブ	南湖6-15-13
30	老人憩の家 しおさい南湖	南湖6-15-13
31	漁業協同組合	南湖6-12988
32	高砂コミュニティセンター	中海岸1-2-42
33	文化資料館	中海岸2-2-18
34	茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラス	中海岸3-3-9
35	茅ヶ崎公園野球場	中海岸3-3-11
36	茅ヶ崎市美術館	東海岸北1-4-45
37	茅ヶ崎市立図書館	東海岸北1-4-55
38	海岸地区コミュニティセンター	東海岸北5-16-20
39	市立東海岸小学校	東海岸南4-10-1
40	市立第一中学校	東海岸南4-10-1
41	東海岸児童クラブ	東海岸南4-10-40
42	茅ヶ崎ゆかりの人物館	東海岸南6-6-64
43	茅ヶ崎市南地区児童クラブ	東海岸南2-6-14

	小出地区	所在地
1	芹沢スポーツ公園	芹沢430-3
2	小出支所	芹沢888
3	市立小出小学校	芹沢944
4	茅ヶ崎市斎場	芹沢1700
5	堤スポーツ広場	堤1316
6	老人憩の家 皆楽荘	堤1928-1
7	小出児童クラブ	堤1967
8	小出地区コミュニティセンター	堤1948-1
9	市立北陽中学校	下寺尾1660

※メーカー機種は変更されることがありますが、基本的な使用方法は全機種（メーカー）同じです。

	松林・松浪地区	所在地
1	香川公民館	香川1-11-1
2	香川第2児童クラブ	香川1-30-51
3	市立香川小学校	香川1-33-1
4	香川自転車駐車場	香川4-43-3
5	香川保育園	香川4-46-1
6	香川駅前出張所	香川5-3-17
7	香川児童クラブ	香川6-9-46
8	市立赤羽根中学校	赤羽根3030
9	農業ふれあい広場	赤羽根1948
10	市立室田小学校	室田1-1-1
11	松林公民館	室田1-3-2
12	室田保育園	室田1-3-13
13	市立松林中学校	室田3-1-1
14	小和田地区コミュニティセンター	小和田1-22-60
15	小和田児童クラブ	小和田3-2-43
16	市立小和田小学校	小和田3-10-1
17	市立松林小学校	菱沼1-1-1
18	松林児童クラブ	松林2-16-32
19	室田児童クラブ	松林3-5-33
20	松林ケアセンター	松林3-9-28
21	本宿町自転車駐車場	本宿町11-59
22	辻堂駅前出張所	藤沢市辻堂2-2-14
23	つつじ学園	松が丘2-8-51
24	市立浜須賀中学校	松が丘2-8-54
25	浜須賀保育園	松が丘2-8-60
26	浜須賀会館	松が丘2-8-63
27	浜須賀第2児童クラブ	松が丘2-11-16
28	松浪児童クラブ	富士見町2-13
29	緑が浜児童クラブ	富士見町2-13
30	松浪コミュニティセンター	常盤町2-2
31	小和田公民館	美住町6-20
32	松浪第2児童クラブ	松浪1-1-12
33	市立松浪小学校	松浪1-1-61
34	小和田保育園	松浪1-8-4
35	市立松浪中学校	松浪2-6-47
36	市立浜須賀小学校	白浜町3-1
37	浜須賀児童クラブ	白浜町3-24
38	市立緑が浜小学校	緑が浜1-1
39	市立汐見台小学校	汐見台3-11
40	汐見台児童クラブ	汐見台3-11

	鶴嶺・柳島地区	所在地
1	茅ヶ崎市屋内温水プール	萩園820
2	環境事業センター（清掃事業所）	萩園836
3	環境事業センター（収集事業所）	萩園1085
4	老人憩の家 萩園いこいの里	萩園1215-4
5	鶴嶺公民館	萩園2028-55
6	市立萩園中学校	萩園2425
7	鶴嶺西コミュニティセンター	萩園2360-1
8	鶴嶺東コミュニティセンター	西久保180
9	浜之郷児童クラブ	西久保180
10	市立円蔵中学校	円蔵1-15-1
11	市立円蔵小学校	円蔵1-13-1
12	市立鶴が台中学校	鶴が台2-7
13	鶴が台保育園	鶴が台10-8
14	学童保育所かげの子くらぶ	鶴が台12-1
15	市立鶴が台小学校	鶴が台12-1
16	市立浜之郷小学校	浜之郷90
17	市立鶴嶺小学校	浜之郷477
18	市立鶴嶺中学校	浜之郷500
19	鶴嶺児童クラブ	浜之郷603
20	市立今宿小学校	今宿192
21	こどもセンター	今宿444-2
22	今宿鶴嶺児童クラブ	今宿1224-1
23	今宿児童クラブ	今宿1225-1
24	市立中島中学校	中島1469-2
25	コミュニティセンター湘南	中島1670
26	市立柳島小学校	柳島1594
27	柳島記念館	柳島1900
28	柳島児童クラブ	柳島2-6-54
29	柳島スポーツ公園	柳島1300
30	柳島キャンプ場	柳島海岸1592-1
31	浜見平保育園	浜見平11-1
32	ハマミーナ出張所	浜見平11-1

◎ 茅ヶ崎市応急手当普及協会 ◎

【平成30年度の活動内容】

- ・上級救命講習会に指導者として参加協力(講習4回、延べ19人参加)
- ・普通救命講習会に指導者として参加協力(講習106回、延べ339人参加)
- ・応急手当講習会に指導者として参加協力(講習41回、延べ131人参加)
- ・中学生を対象としたジュニアコース講習会に指導者として参加協力(講習26回、延べ172人参加)
- ・小学生を対象とした救命入門コースに指導者として参加協力(講習33回、延べ231人参加)
- ・救急の日{9月9日(日)}のイベントに参加協力(43人参加)
- ・消防防災フェスティバル{10月21日(日)}に参加協力(36人参加)
- ・湘南国際マラソン{12月2日(日)}に茅ヶ崎市内の救護ボランティアとして参加(35人参加)
- ・会員の知識、技術向上のための研修会を9回開催(延べ130人参加)

【会員】

- ・会員は市内の事業所に勤務される方や市民などで構成され、平成31年4月1日現在で143人となりました。

【救急の日イベント】

心肺蘇生法やAEDの取り扱いなど、様々な体験コーナーを設置し、バルーンアートなども加えて楽しくレクチャーしました！



【消防防災フェスティバル】

心肺蘇生法やAEDの取り扱いなど、来場した大勢の人たちにレクチャーしました



MEMO



茅ヶ崎市オリジナル広報キャラクター
えぼし麻呂とショウボーグ 119 号

茅ヶ崎市消防本部		代表番号 0467-82-1111	
消防総務課 fire_soumu@city.chigasaki.kanagawa.jp	総 務 担 当	0467-85-9940	
	企 画 担 当		
予 防 課 fire_yobou@city.chigasaki.kanagawa.jp	予 防 担 当	0467-85-9943	
	査察指導担当		
	危 険 物 担 当		
警防救命課 fire_keibou@city.chigasaki.kanagawa.jp	警 防 担 当	0467-85-9945	
	整 備 担 当		
	救 命 担 当		
指令情報課 fire_tsushin@city.chigasaki.kanagawa.jp	指令情報担当	0467-85-4591	
FAX	0467-85-3119		
	0467-85-1112（指令情報課）		
茅ヶ崎市消防署			
消防指導課 fire_shidou@city.chigasaki.kanagawa.jp	消防指導担当	0467-85-4594	
	FAX	0467-85-7299	
警備第一課 警備第二課	本 署	0467-85-4593	
	小和田出張所	0467-82-8300	
	小 出 出 張 所	0467-53-3004	
	鶴 嶺 出 張 所	0467-85-8811	
	松 林 出 張 所	0467-52-1230	
	海 岸 出 張 所	0467-83-3311	
災害情報案内 （テレホンガイド）	0467-82-2119	救急医療情報案内	0467-85-0119
ホームページアドレス	http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/		

令和元年版（平成30年度）消防年報

編集発行 茅ヶ崎市消防本部

〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

TEL 0467-85-9940 (ダイヤルイン)

FAX 0467-85-3119

ホームページ : <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>